

設 計 書

東 町 市 営 住 宅 外 壁 外 改 修 工 事 （ 二 期 工 事 ）

鹿 沼 市 東町1丁目
工 期 令和 8 年 2 月 23 日 まで

設 計 概 要

2号棟 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積 1559.36㎡
1号棟自転車置場 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 42.24㎡
2号棟自転車置場 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 31.68㎡
集会室 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延べ面積 98.62㎡
外壁改修工事、防水改修工事等 一式

検算者

担当者

鹿 沼 市 役 所

(甲-1)

設 計 書

設 計 金 額

内 訳

工 事 価 格

消費税相当額

変 更 前 回 実 施

変 更 今 回

設

工 事 価 格

計

消 費 税

額

請 負 工 事 費

請

請 負 価 格

負

消 費 税

額

請 負 代 金

設

工 事 価 格

計

消 費 税

額

請 負 工 事 費

請

請 負 価 格

負

消 費 税

額

請 負 代 金

請 負 率

増減額

変 更 理 由

鹿

沼

市

役

所

(甲 ー 2)

工 種	種 別	形 状 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
共 通 仮 設 費	準備費、仮設建物費、工事施設費、環境安全費、動力用水光熱費、						
	屋外整理清掃費、機械器具費、その他		1	式			
	交通誘導員		1	式			別紙 00-0001
	ガードフェンス (2号棟)		1	式			別紙 00-0002
	ガードフェンス (集会室)		1	式			別紙 00-0003
	ガードフェンス (看板)		1	式			別紙 00-0004
	パイロン区画 (ラフテレーンクレーン使用時)		1	式			別紙 00-0005
	パイロン区画 (1号棟自転車置場)		1	式			別紙 00-0006
	パイロン区画 (2号棟自転車置場)		1	式			別紙 00-0007
	ラフテレーンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)		1	式			別紙 00-0008
計							

鹿 沼 市 役 所 (乙)

工事種別内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事		1	式		
建築工事に伴う電気設備工事		1	式		
計					

建築工事 種目別内訳

2

[illegible]

鹿

沼

市

役

所

(乙)

名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
電気設備		1	式		
計					

2号棟					
名	称	数	量	単	位
直接仮設工事		1		式	
防水改修工事		1		式	
外壁改修工事		1		式	
塗装改修工事		1		式	
環境配慮改修工事		1		式	
雑工事		1		式	
	計				

1 号棟自転車置場						
名	称	数	量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1		式		
防水改修工事		1		式		
外壁改修工事		1		式		
計						

建築工事 科目別内訳

6

2号棟自転車置場

[illegible]

鹿

沼

市

役

所

(乙)

建築工事 科目別内訳

集会室									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設工事		1		式					
防水改修工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
建具改修工事		1		式					
塗装改修工事		1		式					
雑工事		1		式					
	計								

発生材処理					
名	称	数	量	単	位
発生材処理		1	式		
計					

電気設備									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
電灯設備			1		式				
撤去工事			1		式				
	計								

建築工事 中科目別内訳

11

2号棟					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					
塗装改修工事		1	式		
計					
環境配慮改修工事		1	式		
計					
雑工事		1	式		
計					

鹿

沼

市

役

所

(乙)

1 号棟自転車置場					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					

2号棟自転車置場					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

14

集会室					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設工事		1	式		
計					
防水改修工事		1	式		
計					
外壁改修工事		1	式		
計					
建具改修工事		1	式		
計					
塗装改修工事		1	式		
計					
雑工事		1	式		
計					

鹿

沼

市

役

所

(乙)

解体					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
とりこわし工事	外構	1	式		
計					

発生材処理					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
発生材処理	積込・運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

電気設備					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					
撤去工事	電灯分岐撤去	1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

18

2号棟 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満 掛払い手間 供用100日 賃料 基本 料 修理費 運搬費共 2436㎡程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 掛払い手間 供用100日 賃料 基本 料 修理費 運搬費共 137m程度	1	式			
小幅ネット	防災ポリエステル 掛払い手間 供用90日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 556m程度	1	式			
単管本足場	10m未満 掛払い手間 供用100日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 48.5㎡程度	1	式			
安全手すり	単管本足場用 掛払い手間 供用100日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 12.4m程度	1	式			
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間 供用30日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 299㎡程度	1	式			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 掛払い手間 供用90日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 1716㎡程度	1	式			
養生(外壁改修)	257㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (外壁改修)	257㎡程度	1	式			
養生 (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 415㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 415㎡程度	1	式			
養生防護棚	足場の外側12m程度 および足場と建物との隙間共 掛払い手間 供用90日 賃料 基本料 修理費 運搬費共	1	式			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

2号棟 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング撤去	集積共	2,159	m			
シーリング 笠木端部・ジョイント	15w×10d 変成シリコン系MS-2	11.9	m			
シーリング 釘頭	10w×10d 換算数量 変成シリコン系MS-2	4.9	m			
シーリング 屋根端部入隅	15w×15d 変成シリコン系MS-2	2.4	m			
シーリング ホルト	10w×10d 換算数量 変成シリコン系MS-2	1	m			
シーリング マンホール	20w×10d 変成シリコン系MS-2	4	m			
シーリング 架台	10×10 ポリウレタン系(PU-2)	2.8	m			
シーリング 押え金物	10×10 変成シリコン系(MS-2)	106	m			
シーリング 壁押え金物	10×10 変成シリコン系(MS-2)	30.2	m			
シーリング ハッチ	15×10 ポリウレタン系(PU-2)	8.2	m			
シーリング 水切下	15w×10d 変成シリコン系MS-2	191	m			
シーリング 底上横下・サッシ上横下	10w×10d 変成シリコン系MS-2	832	m			
シーリング 打継ぎ	20w×10d ポリウレタン系PU-2	323	m			
シーリング タクト壁・フット壁・換気パイプ・通気口	変成シリコン系MS-2	83.3	m			
シーリング 防水上	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 10×10	168	m			

2号棟 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング タイル廻り	10w×10d ポリサルファイト系PS-2	22.4	m			
シーリング 玄関扉枠・PS扉枠	15w×10d 変成シリコン系MS-2	226	m			
シーリング 点検口扉枠	10w×10d 変成シリコン系MS-2	6.7	m			
シーリング 壁-笠木	変成シリコン系MS-2	18.5	m			
シーリング シート防水端部(アルミ 笠木下)	10×10 変成シリコン系(MS-2)	116	m			
鋳鉄製ルーフトレイン 100φストレーナー撤去	モルタル修正共	12	か所			
改修用ルーフトレイン10 0φ用		12	か所			
アルミ製笠木180w撤 去再取付		128	m			
ステンレス製マンホール撤去 再取付		1	か所			
軒先唐草・雨押え 撤去再取付		109	m			
壁押え金物・押え 金物撤去	集積共	136	m			
壁押え金物 直線 部		24.8	m			
押え金物 直線部		103	m			
既存防水層撤去 庇平場・立上り	屋上防水層 シート防水層 集積共	298	m ²			
ケレン・清掃 庇平場・立上りシ ート防水下地	全面デッキングラシがけ	298	m ²			

2号棟 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下地調整 庇平場 シート防水下地	ポリマーセメントペースト	176	m ²			
下地調整 庇立上り シート防水下地	ポリマーセメントペースト	122	m ²			
庇平場塩化ビニル樹脂系シート防水2t 保護塗料	接着工法 保護塗料:塩ビシート用アクリルウレタン系2液 硬化型保護塗料	176	m ²			
庇立上り塩化ビニル樹脂系シート防水2t 保護塗料	接着工法 保護塗料:塩ビシート用アクリルウレタン系2液 硬化型保護塗料	122	m ²			
庇平場・立上り仮防水		298	m ²			
ベランダ平場・立上り既存塗膜防水高圧水洗	15MPa程度	306	m ²			
ベランダ平場ウレタン塗膜防水塗替え	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 仕上塗料塗り	211	m ²			
ベランダ立上りウレタン塗膜防水塗替え	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 仕上塗料塗り	94.1	m ²			
鋳鉄製中継ルーフトレイン100φストレーナー撤去再取付	錆落とし 防錆塗装塗替え共	24	か所			
アルミ製笠木180w付手摺・ガスケツ撤去再取付		173	m			
テレビアンテナ架台高圧水洗	15MPa程度	1.2	m ²			
下地調整 テレビアンテナ架台立上り	ポリマーセメントペースト	1.2	m ²			
テレビアンテナ架台ウレタン塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 仕上塗料塗り	1.2	m ²			
階段室排水溝高圧水洗	15MPa程度	6.4	m ²			
階段室排水溝下地平滑処理	立上り部仕様	6.4	m ²			

[illegible]

2号棟		外壁改修工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	タイル・モルタル塗替改修	522	m ²			
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	2,264	m ²			
ひび割れ補修（幅0.2mm以上）	Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填+珪砂散布	24.2	m			
ひび割れ補修（幅0.2mm未満）	シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	466	m			
欠損補修	充填工法 エポキシ樹脂モルタル	0.1	m ²			
欠損補修	モルタル塗替え工法 壁モルタル塗り はけ引き 外壁 厚25	9.4	m ²			
浮き補修	アンカービードニング部分エポキシ樹脂注入工法 （一般）ビードン16本/m ² , 25ml/箇所	1.8	m ²			
浮き補修	アンカービードニング部分エポキシ樹脂注入工法 （狭幅部）ビードン5本/m, 25ml/箇所	71.7	m			
浮き補修	アンカービードニング部分エポキシ樹脂注入工法 （タイル部）ビードン1本/箇所, 25ml/箇所	33	か所			
アルミ手摺撤去再取付	2000×900	24	か所			
水洗い・清掃		2,312	m ²			
下地調整費	コンクリート面 屋内外 C-1	0.1	m ²			
可とう形改修塗材 CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系 無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【 耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	1,479	m ²			
可とう形改修塗材 CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系 高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料【耐候形 1種】 菊水化学工業同等	307	m ²			
下塗材	カチオン形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形） 菊水化学工業同等	525	m ²			

[illegible]

2号棟 塗装改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根面下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	426	m ²			
ふっ素樹脂系屋根 用遮熱塗料塗替え	錆止め塗料補修塗り・下塗り・上塗り 共	426	m ²			
S O P 塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A(鉛・クロムフリー1種) 下地RB種(塗替え面)	17.8	m ²			
S O P 塗り 改修仕様	亜鉛めっき鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	66.1	m ²			
S O P 塗り 改修仕様	鋼製建具面 工程A種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	72	m ²			
E P - G 塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 素地B種	19.8	m ²			
計						

[illegible]

1 号棟自転車置場 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間 供用30日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 79.3㎡程度	1	式			
養生(外壁改修)	88.4㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (外壁改修)	88.4㎡程度	1	式			
養生 (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 60.6㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 60.6㎡程度	1	式			
計						

建築工事 細目別内訳

29

1号棟自転車置場 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
庇平場・立下り 高压水洗	15MPa程度	67.6	m ²			
下地調整 庇平場	ポ ^リ マーセメントヘ ^ー ースト	60.6	m ²			
塗膜防水 庇平場	X-2 密着工法 ウレタンコ ^ゝ ム系 平面 仕上塗料塗り	60.6	m ²			
下地調整 庇立下り	ポ ^リ マーセメントヘ ^ー ースト	7	m ²			
塗膜防水 庇立下り	X-2 密着工法 ウレタンコ ^ゝ ム系 立上り 仕上塗料塗り	7	m ²			
計						

1号棟自転車置場 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	244	m ²			
ひび割れ補修（幅0.2mm以上）	Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填+珪砂散布	24.9	m			
ひび割れ補修（幅0.2mm未満）	シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	24.9	m			
水洗い・清掃		173	m ²			
可とう形改修塗材CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	118	m ²			
下塗材	かきむし形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形） 菊水化学工業同等	54.8	m ²			
軒天塗替え用アクリルシリコン樹脂仕上塗材	菊水化学工業同等	54.8	m ²			
計						

鹿 沼 市 役 所 (乙)

建築工事 細目別内訳

32

2号棟自転車置場 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
庇平場・立下り 高压水洗	15MPa程度	51.7	m ²			
下地調整 庇平場	ポ ^リ マーセメントヘ ^ー ースト	46.2	m ²			
塗膜防水 庇平場	X-2 密着工法 ウレタンコ ^ゝ ム系 平面 仕上塗料塗り	46.2	m ²			
下地調整 庇立下り	ポ ^リ マーセメントヘ ^ー ースト	5.5	m ²			
塗膜防水 庇立下り	X-2 密着工法 ウレタンコ ^ゝ ム系 立上り 仕上塗料塗り	5.5	m ²			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

2号棟自転車置場 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	188	m ²			
ひび割れ補修（幅0.2mm以上）	Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填+珪砂散布	3.4	m			
ひび割れ補修（幅0.2mm未満）	シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	3.4	m			
水洗い・清掃		133	m ²			
可とう形改修塗材CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	91	m ²			
下塗材	かきむし形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形） 菊水化学工業同等	41.8	m ²			
軒天塗替え用アクリル樹脂エマルジョン樹脂仕上塗材	菊水化学工業同等	41.8	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

34

集会室 直接仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満 掛払い手間 供用85日 賃料 基本 料 修理費 運搬費共 214㎡程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 掛払い手間 供用85日 賃料 基本 料 修理費 運搬費共 51.8m程度	1	式			
内部仕上足場	脚立足場 掛払い手間 供用30日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 5.3㎡程度	1	式			
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間 供用75日 賃料 基本料 修理費 運搬費共 214㎡程度	1	式			
養生(外壁改修)	83.6㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (外壁改修)	83.6㎡程度	1	式			
養生 (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 4.3㎡程度	1	式			
整理清掃後片付け (防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート) 4.3㎡程度	1	式			
養生防護棚	足場と建物との隙間 掛払い手間 供用75日 賃料 基本料 修理費 運搬費共	1	式			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

集会室 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング撤去	集積共	151	m			
シーリング 笠木端部・ジョイント	15w×10d 変成シリコン系MS-2	1.6	m			
シーリング 釘頭	10w×10d 換算数量 変成シリコン系MS-2	1.1	m			
シーリング 押え金物	10×10 変成シリコン系 (MS-2)	5.2	m			
シーリング サッシ上横下・水切下 ・換気口上横下	10w×10d 変成シリコン系MS-2	88.3	m			
シーリング 外巾木	20w×10d ポリウレタン系PU-2	35	m			
シーリング タクト壁・フットー壁・ 通気口・冷媒管トレ イン管カバー・クーラースリ ップ	変成シリコン系MS-2	11.3	m			
シーリング タイル廻り	10w×10d ポリサルファイト系PS-2	2.4	m			
シーリング 壁-笠木	変成シリコン系MS-2	0.4	m			
シーリング シート防水端部 (アルミ 笠木下)	10×10 変成シリコン系 (MS-2)	5.3	m			
鋳鉄製ルーフトレイン 75φストレーナー撤去	モルタル修正共	1	か所			
改修用ルーフトレイン75 φ用	モルタル修正共	1	か所			
アルミ製笠木175w撤 去再取付		5.1	m			
押え金物撤去	集積共	5.2	m			

集会室 防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
押え金物 直線部		5.2	m			
既存防水層撤去 庇平場・立上り	屋上防水層 シート防水層 集積共	8.9	m ²			
ケレン・清掃 庇平場・立上りシート 防水下地	全面デッキアランスがけ	8.9	m ²			
下地調整 庇平場 シート防水下地	ポリマーセメントペースト	4.3	m ²			
下地調整 庇立上り シート防水下地	ポリマーセメントペースト	4.6	m ²			
庇平場塩化ビニル樹脂系 シート防水2t 保護塗料	接着工法 保護塗料:塩ビシート用アクリルウレタン系2液 硬化型保護塗料	4.3	m ²			
庇立上り塩化ビニル樹脂系 シート防水2t 保護塗料	接着工法 保護塗料:塩ビシート用アクリルウレタン系2液 硬化型保護塗料	4.6	m ²			
庇平場・立上り仮 防水		8.9	m ²			
三角庇上端・立下り 高圧水洗	15MPa程度	7.4	m ²			
下地調整 三角庇上端・立下り	ポリマーセメントペースト	7.4	m ²			
塗膜防水 三角庇上端・立下り	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 仕上塗料塗り	7.4	m ²			
屋根板金留め金物の 抜け、錆等の調査及び 補修		22.8	m			
縦樋カラーVU75φ 取付金物撤去	カラーVU 集積共	2.8	m			
縦樋カラーVU75φ 取付金物	カラーVU	2.8	m			
計						

集会室 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査	タイル・モルタル塗替改修	14.9	m ²			
施工数量調査	打放し面・仕上塗材改修	166	m ²			
ひび割れ補修（幅0.2mm以上）	Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填+珪砂散布	1.7	m			
ひび割れ補修（幅0.2mm未満）	シーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填	32.3	m			
欠損補修	充填工法 エポキシ樹脂モルタル	0.1	m ²			
欠損補修	モルタル塗替え工法	2.1	m ²			
浮き補修	アンカービードンニング部分エポキシ樹脂注入工法 （一般）ビードン16本/m ² , 25ml/箇所	0.1	m ²			
浮き補修	アンカービードンニング部分エポキシ樹脂注入工法 （狭幅部）ビードン5本/m, 25ml/箇所	5	m			
水洗い・清掃		159	m ²			
下地調整費	コンクリート面 屋内外 C-1	0.1	m ²			
可とう形改修塗材 CE	さざなみ状（ローラー） 上塗材：1液水系 無機有機ハイブリッドふっ素樹脂塗料【 耐候形1種相当】 菊水化学工業同等	123	m ²			
下塗材	カチオン形アクリル樹脂エマルジョン系下塗材（浸透形） 菊水化学工業同等	36.4	m ²			
軒天塗替え用アクリル シリコン樹脂仕上塗材	菊水化学工業同等	36.4	m ²			
基礎巾木塗装	着色ポリマーセメント系塗材同等	5.8	m ²			
計						

[illegible]

建築工事 細目別内訳

40

集会室 雑工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ製丸形パイプフット撤去	ガラリ付 150φ	6	か所			
アルミ製深型フット 150φ	ワイト水切タイプ 標準タイプ 縦キヤラリ 網5メッシュ FD付(120度)	1	か所			
アルミ製深型フット 150φ	ワイト水切タイプ 標準タイプ 縦キヤラリ 網5メッシュ FD付(72度)	3	か所			
アルミ製深型フット 150φ	ワイト水切タイプ 標準タイプ 縦キヤラリ 網5メッシュ	2	か所			
破損アルミガラリ 250w×200h 水切付撤去		1	か所			
アルミガラリ 250w×200h 水切付		1	か所			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

鹿 沼 市 役 所 (乙)

建築工事 細目別内訳

42

発生材処理		発生材処理		積込・運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込	コンクリート類 アスファルト類	0.7	m3			
発生材積込	その他	4.2	m3			
発生材積込	アスベスト含有建材	0.3	m3			
発生材運搬	コンクリート類	0.7	m3			
発生材運搬	廃プラスチック類	3.6	m3			
発生材運搬	解体系混合廃棄物	0.5	m3			
発生材運搬	アスベスト含有建材レベル3	0.3	m3			
発生材運搬	鉄くず	0.02	m3			
発生材運搬	ステンレス	0.01	m3			
発生材運搬	アルミ	0.02	m3			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

発生材処理		発生材処理		処分									
名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
残材処分		コンクリート類		0.7		m3							
残材処分		廃プラスチック類		3.6		m3							
残材処分		解体系混合廃棄物		0.5		m3							
残材処分		アスベスト含有建材 レベル3		0.3		m3							
有価材処分		鉄くず		0.2		t							
有価材処分		ステンレス		0.03		t							
有価材処分		アルミ		0.04		t							
	計												

電気設備		撤去工事		電灯分岐撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
照明器具 撤去	直付富士型 FL20W-1 再使用しない	12	個			
照明器具 撤去	ブラケット FUL13W-1 再使用しない	23	個			
水道集中検針盤 撤去	離線及び絶縁処理共	1	面			
ブラックプレート	金属製 4個用	1	個			
計						

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

1

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員		1	式			別紙 00-0001
交通誘導員		11	人日			
計						
ガードフェンス (2号棟)		1	式			別紙 00-0002
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共 掛払い手間	14.1	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共 供用100日賃料 修理費含む	14.1	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共 基本料 修理費含む	14.1	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		14.1	m			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

2

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス (集会室)		1	式			別紙 00-0003
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共掛払い手間	5.7	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共供用85日賃料 修理費含む	5.7	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共基本料 修理費含む	5.7	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		5.7	m			
計						
ガードフェンス (看板)		1	式			別紙 00-0004
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共掛払い手間	4.1	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共供用1日賃料 修理費含む	4.1	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具 目隠しシート共基本料 修理費含む	4.1	m			
仮設材運搬 (ガードフェンス)		4.1	m			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

3

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
パイロン区画 (ラフテレ ンクレン使用時)		1	式			別紙 00-0005
カラーコーン	基本料	28	個			
カラーコーン	1日 賃料	28	個			
コーンウェイト	基本料	28	個			
コーンウェイト	1日 賃料	28	個			
コーンパドルL=2000	基本料	27	本			
コーンパドルL=2000	1日 賃料	27	本			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

4

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
パ イロン区画 (1号棟 自転車置場)		1	式			別紙 00-0006
カラーコーン	基本料	6	個			
カラーコーン	55日 賃料	6	個			
コーンウェイト	基本料	6	個			
コーンウェイト	55日 賃料	6	個			
コーンパ ーL=2000	基本料	3	本			
コーンパ ーL=2000	55日 賃料	3	本			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

5

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
パ イロン区画 (2号棟 自転車置場)		1	式			別紙 00-0007
カラーコーン	基本料	10	個			
カラーコーン	55日 賃料	10	個			
コーンウェイト	基本料	10	個			
コーンウェイト	55日 賃料	10	個			
コーンパ ーL=2000	基本料	9	本			
コーンパ ーL=2000	55日 賃料	9	本			
計						
ラフテレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)		1	式			別紙 00-0008
ラフテレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	4.9t吊り オペレータ付き 賃料 標準	1	日			
計						

鹿

沼

市

役

所

(乙)

建 築 工 事 仕 様 書

令和 6 年 6 月 1 日適用

I 共通仕様

1. 工事積算について

本工事の積算は、栃木県県土整備部建築課発行の建築工事積算要領 令和6年4月1日改定(改修建築工事)による。

共通費算出の為の工期は5. 8カ月とする。

新設材の加工等により発生するスクラップの控除価格は、一般工事として共通費等を算出する。

撤去および解体により発生する有価物の控除価格は、共通仮設費、現場管理費および一般管理費の対象外として共通費等を算出する。

2. 工事仕様について

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書(質問回答書含む)に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」により施工するものとする。

最新情報及び改訂版等の管理は適宜行い、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

3. 資材の購入及び下請負業者の選定について

(1)本工事において、市内で産出、生産又は製造される資材等の規格品質等が設計図書の仕様に適合すると認められる場合は優先して使用するよう努めること。また、資材購入についても市内業者より購入するよう努めること。

(2)下請負業者の選定に当っては、市内業者を優先的に使用するよう努めること。

(3)一次下請業者に対する工事代金の支払いは、速やかに現金又は90日以内の手形で行うものとする。

4. 成果品の電子納品について

請負者は、原則として成果品の電子納品を実施しなければならない。電子納品に当っては、『鹿沼市電子納品運用ガイドライン』を遵守すること。

5. 工事看板の設置基準について

工事看板の設置は鹿沼市財務部契約検査課 HP 更新履歴(2007 年 12 月 18 日付)を参照すること。

6. 提出書類

請負者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

7. 建設発生土の処分について

請負者は、建設発生土については前記2の工事仕様に定めることのほか、次のことに注意し施工しなければならない。

- (1) 残土運搬・残土処理する場合は関連する諸法令に充分注意し、関係機関と協議するとともに、その旨を監督職員に書面にて報告しなければならない。
- (2) 土質試験項目等については、『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例』及び『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する施行規則』による。

II 特記仕様

1. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

※法定外の労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して、労働者災害補償保険法(労災保険法)による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から補償給付の上積みを行うための保険

2. 週休2日制工事

本工事は、「鹿沼市週休2日制工事試行要領」に基づき受注者の希望により週休2日制工事が実施できる工事である。

3. 安全対策と工期について

施工にあたっては近隣及び通行人等安全面に十分注意した工事計画を立て、作業ごとに作業期間や作業手順等を明確にした工程表を作成し承諾を受けること。
また、入居者への負担を軽減するため、監督職員との工程管理協議を密にし極力工期短縮に努めること。
市営住宅入居者が入居しながらの工事となるため安全管理には十分注意すること。

4. 積算単価について

「官庁営繕工事に適用する市場単価(令和5年度単価)の運用について(試行)」(令和5年3月29 日付け国営積第16 号)を踏まえ、市場単価と補正市場単価は、表—1の対象工種及び補正率を用いた以下の式により補正する。なお、表—1の補正率を他の補正率に乘じる場合、乗じた後の補正率の値は、小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位とする。

- ・市場単価×補正率
- ・補正市場単価×補正率

表—1 補正の対象工種^{注)}と補正率

建築工事

対象工種	補正率
全ての工種	1.01

電気工事

対象工種	補正率
「フルボックス用接地端子」、「防火区画貫通処理金属管・丸型用」以外の配管工事	1.01
配線工事	1.01
接地工事(屋外)	1.01

機械工事

対象工種	補正率
全ての工種	1.01

注)対象工種の区分は、「建築工事積算要領等の資料」第3章表A—1、E—1及びM—1の工種(ただし、表中「市場単価及び補正市場単価改修補正率」に記載のある場合は当該区分)による。

鹿沼市工事資料一覧表(営繕工事)

※1 1. 提出書類

No.	工 事 資 料 名	1000万円未満	検査資料	1000万円以上	検査資料	備 考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
3	工事部分下請通知書	○	●	○	●	契9
4	再生資源利用・利促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※5	○	●	○	●	リサイクル法
5	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	○	●	○	●	特記仕様書
6	設計図書照査表	○	●	○	●	契19
7	実施工程管理図表(月毎及び完成時)	○	●	○	●	標準仕様書、契13
8	総合施工計画書	○※2	●	○	●	標準仕様書
9	工種別施工計画書(施工要領書)	○	●	○	●	標準仕様書
10	工種別施工報告書	○	●	○	●	標準仕様書
11	工事打合せ簿	○	●	○	●	契11の2、11の4
12	工事写真 ※6	○	●	○	●	契16、鹿沼市電子納品ガイドライン
13	材料機器承諾図	○	●	○	●	契15
14	主要資材(及び機器)数量比較調書	○	●	○	●	標準仕様書
15	施工図・見本・カタログ等見本帳	○	●	○	●	標準仕様書
16	工事検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
17	工事材料試験検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
18	製品の立会い検査願い	△	△	△	△	標準仕様書
19	官公署届出書一覧(写し共)	○	●	○	●	標準仕様書
20	竣工図・施工図(製本)	○		○		
21	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品の範囲については監督員と協議による				鹿沼市電子納品ガイドライン
22	保全に関する書類(完成図、取扱い説明書、保証書等)	○	●	○	●	
23	その他	監督員が必要と認める資料				
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

※1 提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2 1000万未満の総合施工計画書に記載する事項

- 1 工事概要
- 2 現場組織表
- 3 緊急時の体制及び対応
- 4 再生資源利用・利用促進(計画)書
- 5 その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※3 請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※5 建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※6 インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。

※4 2. 請負者手持ち資料

No.	工 事 資 料 名	検査資料	備 考
1	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、特記仕様書
2	交通整理員集計表及び伝票		
3	安全教育実施記録簿(写真添付)		安59、安則35
4	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		中小企業退職金共済法
5	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安14、安則16
6	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安59、安則35
7	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則35
8	作業員名簿(自社・下請)		安30
9	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
10	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		標準仕様書、考査
11	工事カルテ(請負額500 万円以上)		特記仕様書
12	創意工夫提案資料(状況写真添付)	△	考査
13	地域コミュニケーション、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
14	使用機器車両の点検記録		
15	休暇期間の巡視計画書		

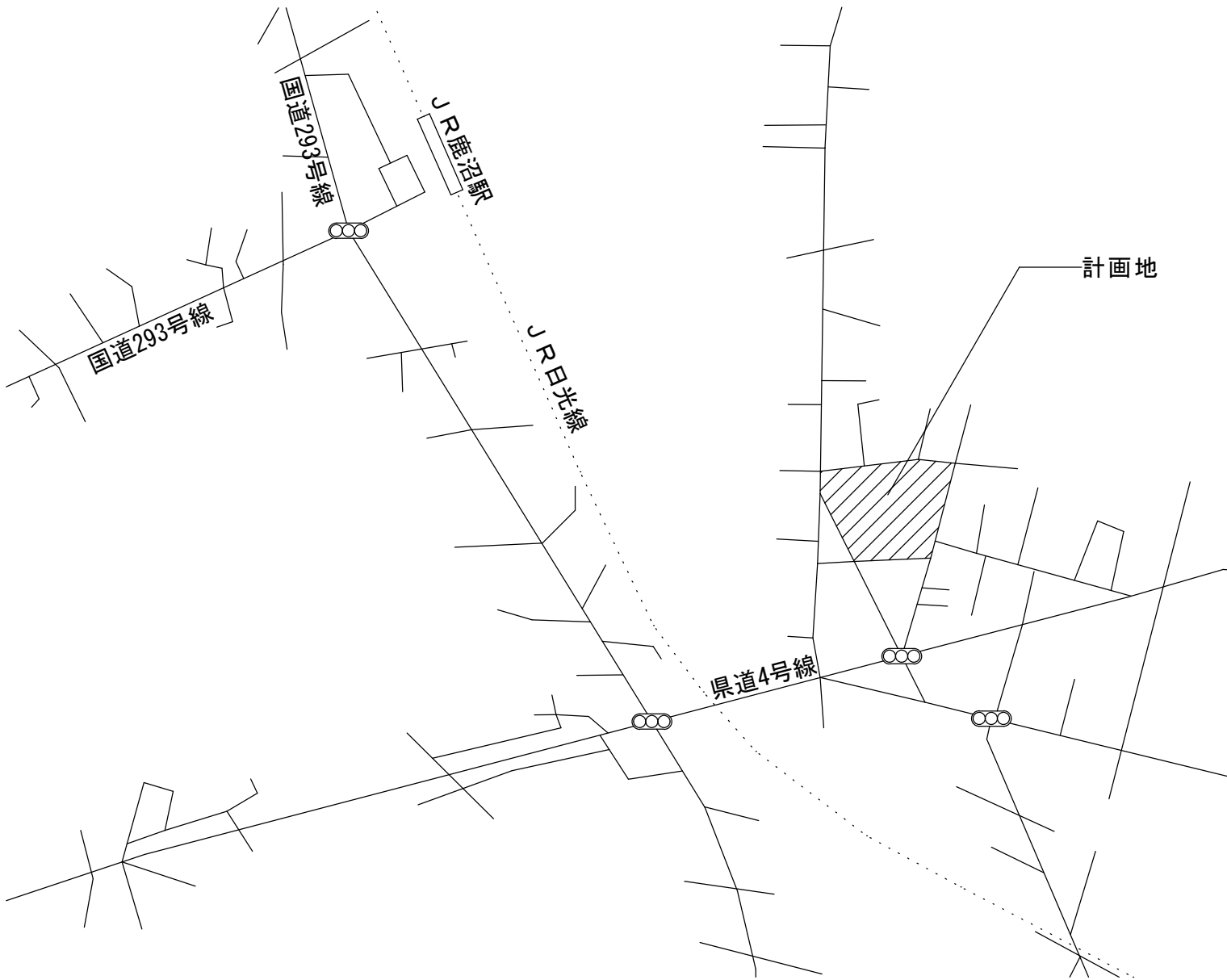
※4 請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。(原本・原稿等提示)

建	建設業法
建則	建設業法施行規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
契	鹿沼市建設工事請負契約書
標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(建築工事編、電気設備編、機械設備編) 公共建築改修工事標準仕様書、 建築物解体工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）

図面リスト

N o .	図面名称
A-00	表紙・図面リスト・案内図
A-01	特記仕様書（その１）
A-02	特記仕様書（その２）
A-03	特記仕様書（その３）
A-04	特記仕様書（その４）
A-05	配置図・仮設計画図
A-06	改修建物仕上表・設計概要
A-07	2号棟 平面図 1
A-08	2号棟 平面図 2
A-09	2号棟 立面図
A-10	2号棟 階段室各図
A-11	2号棟 詳細図 1
A-12	2号棟 詳細図 2
A-13	1号棟自転車置場 各図
A-14	2号棟自転車置場 各図
A-15	集会室 各図
A-16	集会室 詳細図
A-17	外構 各図



案内図

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	表紙・図面リスト・案内図	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-00
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

○7-3 素地ごしらえ (7.3.2～7)(表7.3.1～7)

下地面等			種別
木部	不透明塗料塗りの場合	◎A種 ・ B種	
	透明塗料塗りの場合	・ A種 ◎B種	
鉄鋼面	DP 以外	・ A種 ・ B種 ◎C種	
	DP	・ A種 ◎B種 ・ C種	
垂鉛めっき鋼面			・ A種 ・ B種
モルタル面及びせっこうプラスター面			・ A種 ◎B種
コンクリート面 (DP 以外) 及び ALC パネル面			・ A種 ◎B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)			・ A種 ・ B種
コンクリート面 (DP のみ)			・ A種 ◎B種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	◎A種 ・ B種	
	目地：継目処理工法以外	・ A種 ◎B種	

○7-4 錆止め塗料塗り (7.4.2,3)(表7.4.1～6)

下地面等		塗料	工程
鉄鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え	◎A種 ・ ◎C種 ・
		新規見え掛り	◎A種 ・ ◎A種 ・
		新規見え隠れ	◎A種 ・ ◎B種 ・
	DP	塗替え	改修標仕 7.4.2(1) (f) (b) による ・ A種 (下地調整 RA 種) ・ B種 (下地調整 RB 種) ・ C種 (下地調整 RC 種)
		新規	改修標仕 7.4.2(1) (f) (a) による ・ A種 ・
	EP-G	塗替え	◎B種 ・ ◎C種 ・
		新規見え掛り	◎B種 ・ ◎A種 ・
		新規見え隠れ	◎B種 ・ ◎B種 ・
	亜鉛 めっき 鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え
新規鋼製建具等 その他			◎A種 ・ ◎A種 ・ ◎B種 ・
塗替え			◎B種 ・ -
DP		新規	◎B種 ・ -
EP-G		塗替え	◎C種 ・ ◎C種 ・
		新規鋼製建具等 その他	◎C種 ・ ◎C種 ・ ◎B種

○7-5 各種塗料塗り (7.5.1～7.13.2)(表7.5.1～7.13.1)

塗装	塗装面	工程	
		塗替え	新規
◎合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ◎1種 ・ 2種	木部 屋外	◎B種	◎A種
	木部 屋内	◎B種	◎B種
	鉄鋼面	◎B種	・ A種 ◎B種
	垂鉛めっき鋼面	◎B種	◎B種
	鋼製建具	◎A種	◎B種
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	屋内のコンクリート面 ・ モルタル面	◎B種	◎B種
・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り	・ A種 ・ B種	◎A種
	・ 1 級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2 級 (アクリルシリコン樹脂塗料) ・ 3 級 (ポリウレタン樹脂塗料)	・ C種	
	垂鉛めっき鋼面 ・ 1 級 (フッ素樹脂塗料) ・ 2 級 (アクリルシリコン樹脂塗料) ・ 3 級 (ポリウレタン樹脂塗料)	・ A種 ・ B種 ・ C種	◎A種
	コンクリート面	・ A-1 種 ・ B-1 種 ・ C-1 種	・ A-2 種 ・ B-2 種 ・ C-2 種
	押出成形セメント板面	・ A-1 種 ・ B-1 種 ・ C-1 種	・ A-2 種 ・ B-2 種 ・ C-2 種
・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	屋内木部	◎B種 ・	◎A種 ・
	屋内鉄鋼面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	屋内垂鉛メッキ鋼面	◎A種 ・	・ A種 ・ B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	モルタル面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	せっこうボード面及びその他ボード面	◎B種 ・	・ A種 ◎B種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	塗装面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	モルタル面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
	せっこうボード面	◎B種 ・	・ A種 ・ B種
・ 合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面	・ A種	・ A種 ・ B種
	モルタル面	◎B種	
	せっこうプラスター面	・ C種	
	せっこうボード面		
	木部等		
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ◎B種	・ A種 ◎B種
・ ラッカーエナメル塗り (LE)		・ A種 ◎B種	・ A種 ◎B種
・ クリヤラッカー塗り (CL)		・ A種 ◎B種	・ A種 ◎B種
・ ステン塗り	木部		
・ 木材保護塗料塗り (WP)			
・ 水性ウレタン樹脂塗料塗り	木部	2 波形 4 回塗り 1 回の塗付量 0.06kg/m ³ ホルムアルデヒド放散量☆☆☆☆	
	鉄鋼面	◎メーカー仕様による	

遮熱塗料塗り		
合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ◎1種		
9 章 環境配慮工事		

・9-1 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)

アスベスト粉じん濃度測定
・ 行う (測定名称及び測定点は下表による)
測定箇所 ◎図示 ・ 下表による

測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	各 点	—
・ 測定 2		施工区画周辺または敷地境界	計 点	—
・ 測定 3		処理作業室内	各 点	—
・ 測定 4		セキュリティゾーン入口	各 点	空気の流れを確認
・ 測定 5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各 点	除じん装置の性能確認
・ 測定 6	処理作業後	施工区画周辺または敷地境	計 点	—
・ 測定 7		処理作業室内	各 点	—
・ 測定 8		隔離シート撤去前	施工区画周辺または敷地境界	計 点

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第 1 部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

計測機器	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25 mm		
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトン・トリアセチレン法またはシュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本または視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径 3 μm 未満、長さ 5 μm 以上、長さ と直径比 3 : 1 以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
報告書の作成 (記載する項目)			
ア 測定結果			
イ 測定時間			
ウ 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する)			
エ サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)			
オ マウンティング方法			
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数			
キ 測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向			

○9-2 アスベスト含有材の処理 (9.1.3～6)

・ アスベスト含有吹き付け材の除去
除去範囲 ◎図示 ・
除去工法 改修標仕 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様による。
処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・ アスベスト含有保温材の除去
除去範囲 ◎図示 ・
除去工法 ・ 改修標仕 9.1.4 による (原形のまま、手ばらしが可能な場合)
処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化
除去したアスベスト含有保温材の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

◎アスベスト含有成型板等の除去
除去範囲 ◎図示 ・
除去工法 ◎改修標仕 9.1.5 による
除去したアスベスト含有成形板等の処分
・ アスベスト含有石こうボード
◎埋立処分 (管理型最終処分場)
◎アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板等
◎埋立処分 (安定型最終処分場) ◎中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・ アスベスト含有建築用仕上塗材の除去
除去範囲 ◎図示 ・
除去工法 ・ 改修標仕 9.1.6 による
除去したアスベスト含有建築用仕上塗材の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場)
・ 埋立処分 (安定型最終処分場)
・ 中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・9-3 外断熱改修工事 (9.3.2～4)

断熱材の種類	材料名	厚さ (mm)
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロン [G])		
・ 押出法ポリスチレンフォーム (ノンフロン [G])		
・ 硬質ウレタンフォーム (ノンフロン [G])		
・ フェノールフォーム		
・ ロックウール		
・ グラスウール		
外装材の種類		
・		
既存外壁の仕上材の撤去 ・有 ・無		
下地面の清掃及び下地調整 ◎断熱材製造所の指定する仕様		
通気層 ・有 (mm) ・無		
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記なき事項は、製造所の仕様による。		

・9-4 屋上緑化改修工事 [G] (9.4.1)

植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ◎図示

・9-5 透水性アスファルト舗装改修工事 [G] (9.5.3,4,9)(表9.5.1,3,5)

凍上抑制層の材料
・ 凍上抑制層 ◎再生クラッシャーラン [G] ・クラッシャーラン切込み砂利 ・砂

厚さは図示による
盛り土に用いる材料
・ A種 ◎B種 ・ C種 ・ D種
路床安定処理
◎添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメント B種
・ 生石灰 () ・消石灰 ()
添加量 ・ kg/m³ (目標 CBR ・ 5 以上 ・)
路盤材料
◎再生クラッシャーラン (RC-40) [G]
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]
・クラッシャーラン (C-40)
透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ◎行う (・ 乱した土 ◎乱さない土) ・行わない
路床締固め度の試験 ◎行う ・行わない
砂の粒度試験 ◎行う ・行わない
現場 CBR 試験 ◎行う ・行わない
セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験
◎行う 「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領(案)」による。
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ◎行わない

・9-6 PCB 含有シーリング材の処分

(1) 事前調査等
シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。
・ 現場においてサンプルを採取
採取箇所 ◎外壁目地 ・図示 ・
採取箇所数 ◎部材が異なる毎に 1 箇所 ・図示・
分析により PCB の含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。
(2) 施工調査等
調査範囲 ◎図示 ・
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。
シーリング使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法
(3) 除去処理工事
除去方法
「標準施工要領書 (日本シーリング工事共同組合連合会／日本シーリング材工業会)」による。

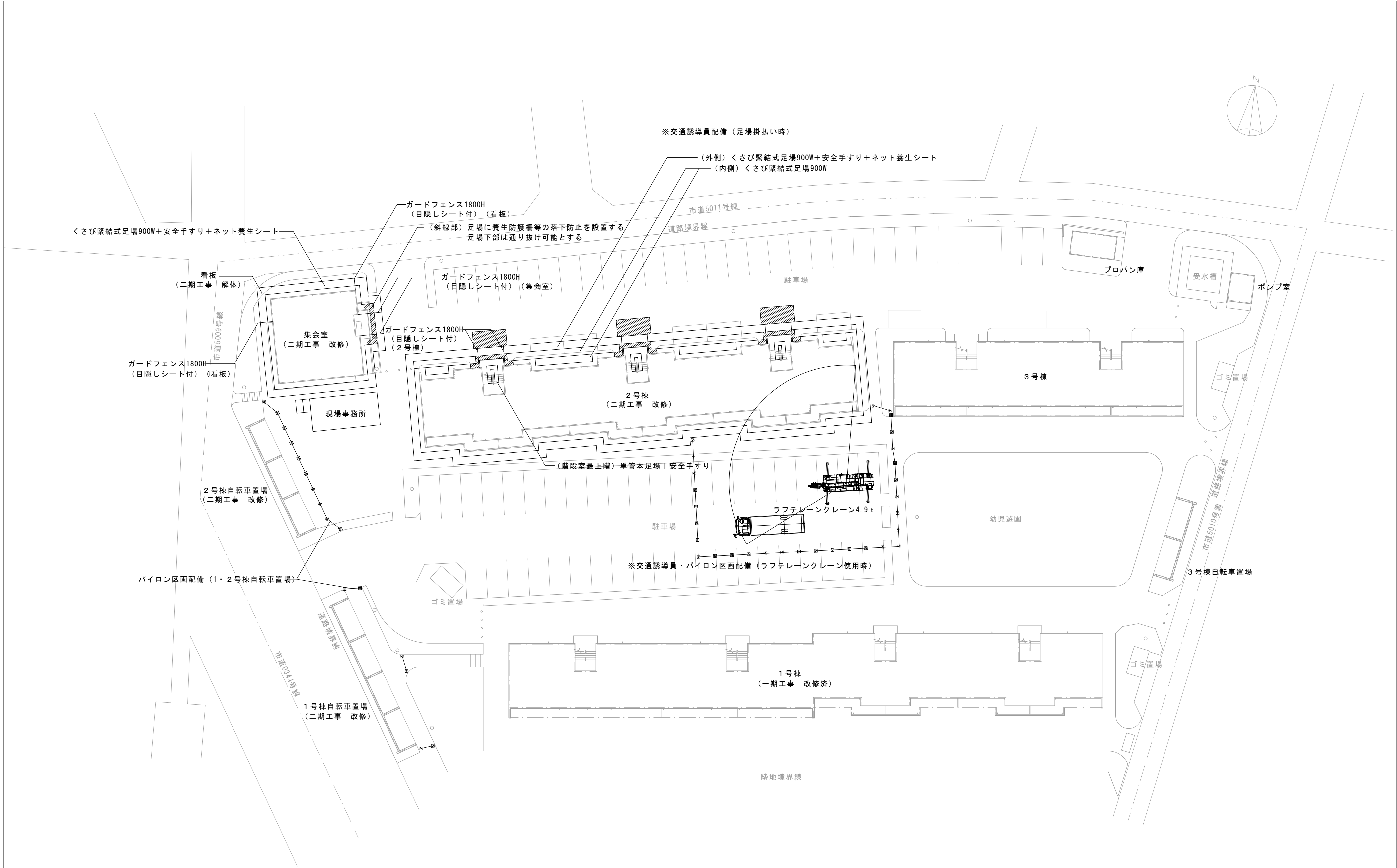
・9-7 処理に注意を要する建設副産物

名称	仕様	数量	備考
・ CCA 処理木材			
・ 石綿含有石こうボード			
・ ひ素・カドニウム含有石こうボード			
・ 上記以外の石こうボード			

石こうボードの撤去にあたっては、下記に事項について施工前調査を行う。
調査結果は、図面及び写真に記録し、監督職員に提出する。
(1) 石こうボードの使用部位の確認
(2) 石こうボードの種類、製造会社名、厚さ等の確認、記録
(3) 石こうボードの使用数量の確認
(4) 施工範囲等の確認
処分を委託する際には、マニフェストの備考欄に石こうボードの有無、製造会社名等を記載する。

工事名称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その４）	図面番号
設計年月日	令和５年 10 月 25 日	A-04
設計者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発注者	鹿沼市	

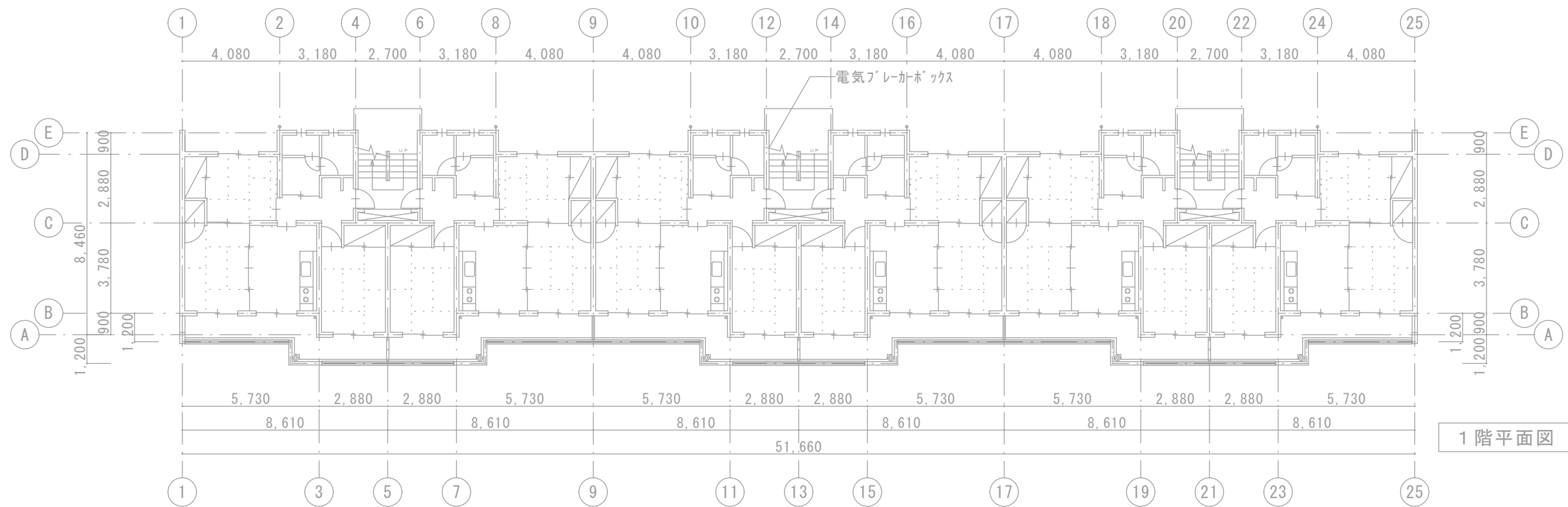
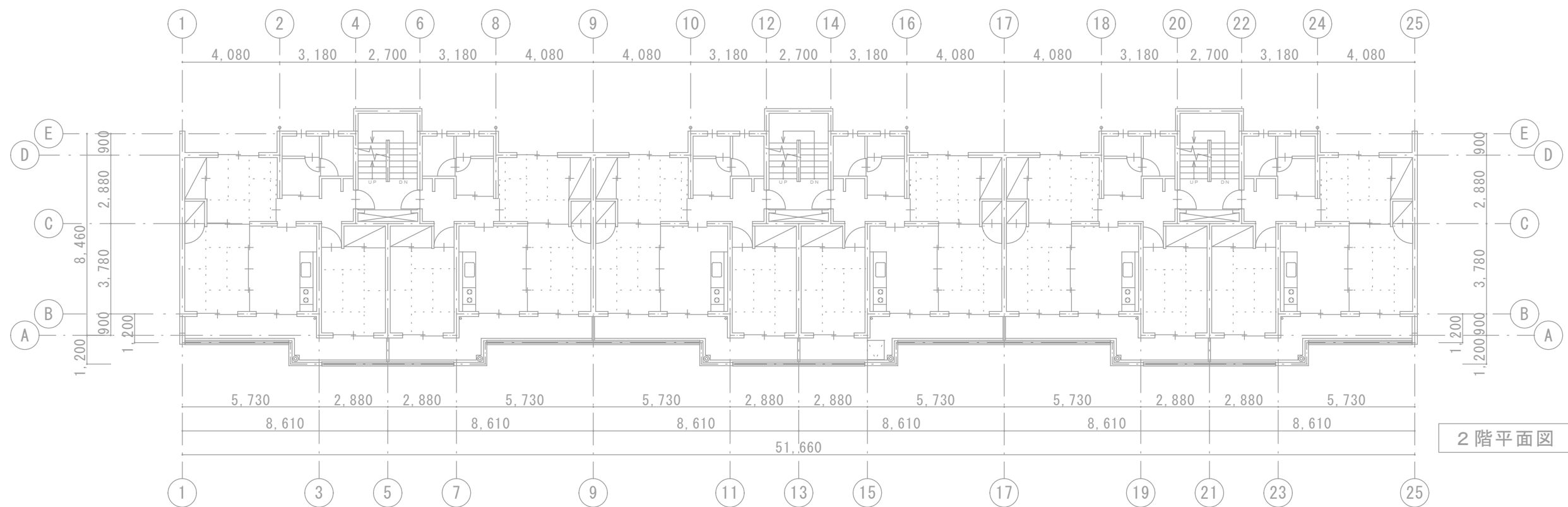
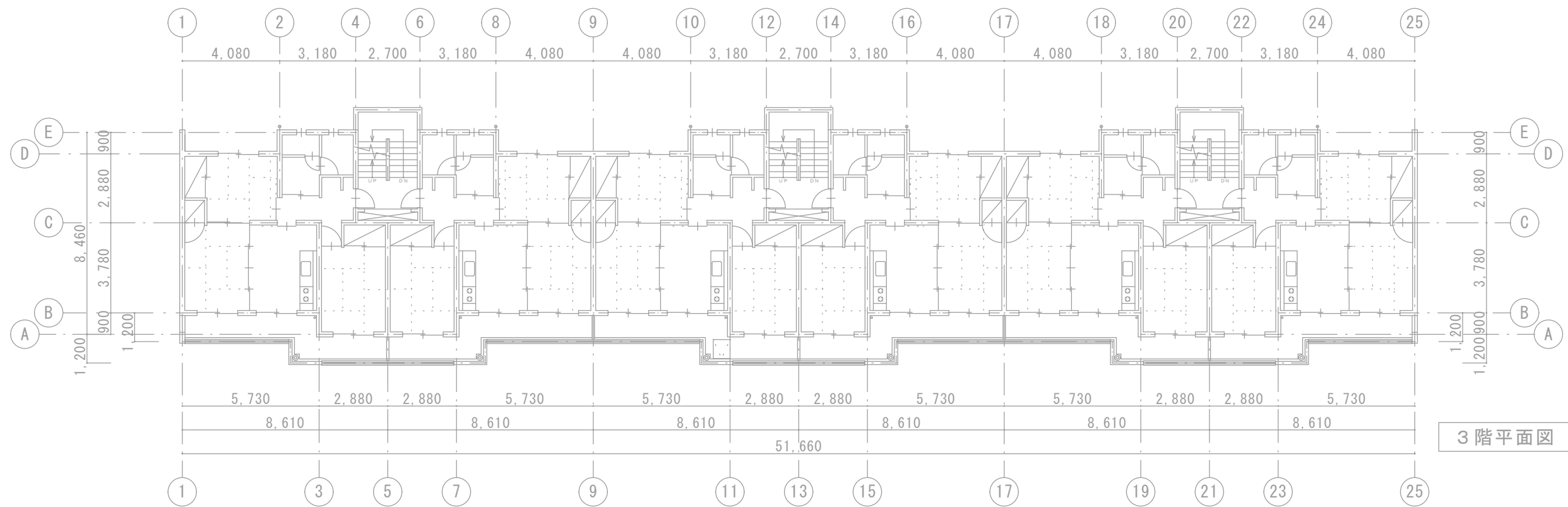
(鹿沼市 R5. 4)



工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	配置図・仮設計画図 / A2 1:300	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-05
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

建物名称		部位	前		後	
2号棟（二期工事）		軒天	【撤去】有孔ケイカル板6t 目透かし E P		【新設】有孔ケイカル板6t 目透かし E P－G	
		屋根	フッ素樹脂鋼板0.4t 段葺 【取外し】軒先唐草・雨押え（シート防水絡む箇所のみ）		フッ素樹脂鋼板0.4t 段葺【改修】ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗替え【再取付】軒先唐草・雨押え 【新設】ポリエステル樹脂系ガルバリウム鋼板0.4t 水切（1号棟）	
		屋根下端	コンクリート打放し		ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し【改修】下地改修の上 下塗材の上 軒天塗替え用ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂仕上塗材	
		庇	平場・立上り	モルタル塗【撤去】塩化ビニル樹脂系シート防水2t	モルタル塗【改修】下地改修の上 塩化ビニル樹脂系シート防水2t 保護塗料 接着工法（仮防水施工含む）	
			外側壁	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E	
			下端	コンクリート打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し【改修】下地改修の上 下塗材の上 軒天塗替え用ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂仕上塗材	
			ドレイン	【撤去】鋳鉄製ルーフドレイン100φストレーナー	【新設】改修用ルーフドレイン100φ用	
			笠木	【取外し】アルミ製笠木180w（シート防水絡む箇所のみ）	【再取付】アルミ製笠木180w（【改修】ｱﾙﾐ製笠木下（ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し部、ｼｰﾄ防水下地ﾓﾙﾀﾙ部）は下地改修）	
			テレビアンテナ架台	コンクリート打放し防水モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放し防水モルタル金ゴテ押え【改修】下地改修の上 ウレタン塗膜防水（笠木天端は水勾配をつける）	
		屋上マンホール	【撤去】ステンレス製マンホール		【再取付】ｽﾃﾝﾚｽ製ﾏﾝﾎｰﾙ（【改修】ｽﾃﾝﾚｽ製ﾏﾝﾎｰﾙ下（ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し部、ｼｰﾄ防水下地ﾓﾙﾀﾙ部）は下地改修）	
		外壁	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E		
		外壁巾木	タイル張	タイル張【改修】下地改修		
			モルタル20t 金ゴテ押え	モルタル20t 金ゴテ押え【改修】下地改修の上 基礎巾木用塗り材		
		階段室	排水溝	防水モルタル金ゴテ押え60w	防水モルタル金ゴテ押え60w【改修】下地改修の上 ウレタン塗膜防水	
			外周壁・手摺壁（内側）	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E（準不燃以上）	
			手摺壁（外側）	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E	
			手摺壁笠木	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E（準不燃以上）	
			巾木・外壁巾木	モルタル20t 金ゴテ押え	モルタル20t 金ゴテ押え【改修】下地改修の上 モルタル刷毛引き2t	
			中壁	モルタル20t 金ゴテ押え	モルタル20t 金ゴテ押え【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E（準不燃以上）	
1号棟（一期工事）	2号棟（二期工事）	3号棟（将来工事）	天井・階段裏	コンクリート打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し【改修】下地改修の上 下塗材の上 軒天塗替え用ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂仕上塗材（準不燃以上）	
			電気ブレーカーボックス	金属製ベンキ	金属製ベンキ【改修】S O P 塗替え	
			平場・立上り	モルタル塗ウレタン塗膜防水3t 歩行用	モルタル塗ウレタン塗膜防水3t 歩行用【改修】ウレタン塗膜防水塗替え	
			手摺壁（内側 外側）	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E	
			手摺壁（外側）	タイル張	タイル張【改修】下地改修	
			手摺壁笠木	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E	
			下端	コンクリート打放し	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し【改修】下地改修の上 下塗材の上 軒天塗替え用ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂仕上塗材	
			ドレイン	【取外し】鋳鉄製中継ﾑﾌﾞﾚｲﾝ100φストレーナー・鋳鉄製ﾑﾌﾞﾚｲﾝ65φストレーナー（2号棟は65φ無）	【再取付】鋳鉄製中継ﾑﾌﾞﾚｲﾝ100φストレーナー・鋳鉄製ﾑﾌﾞﾚｲﾝ65φストレーナー【改修】錆落とし 防錆塗装塗替え（2号棟は65φ無）	
			笠木付手摺	【取外し】ｱﾙﾐ製笠木180w付手摺・ｶﾞｽｹｯﾄ(2号棟)・ｼｰﾘﾝｸﾞ(1,3号棟)	【再取付】アルミ製笠木180w付手摺・ガスケット(2号棟) 【新設】シーリング(1,3号棟)（【改修】ｱﾙﾐ製笠木下（ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し部）は下地改修）	
			隔板	【撤去・取外し】石綿ﾍﾞﾝﾄ板5t V E 避難表示付(両面)・ｶﾞｽｹｯﾄ(1,2号棟)・ｱﾙﾐ枠	【新設】ケイカル板5t 塗装品 避難表示付（両面）【再取付】ガスケット（1,2号棟）・アルミ枠	
			避難ハッチ	【撤去】埋設式ステンレス製避難はしご（中枠は除く）	【新設】埋設式ステンレス製避難はしご（中枠は除く）	
			排水管・通気管	D V L P 80φ 炭素鋼鋼管80φ 取付金物 ﾍﾞﾝﾂｷ及びｸﾚﾀﾝ塗膜防水3t 歩行用（3号棟は塗膜防水無）	D V L P 80φ 炭素鋼鋼管80φ 取付金物 ﾍﾞﾝﾂｷ及びｸﾚﾀﾝ塗膜防水3t 歩行用【改修】S O P 及びｸﾚﾀﾝ塗膜防水塗替え（3号棟は塗膜防水無）	
			冷媒管・ﾄﾞﾚｲﾝ管・室外機	冷媒管・ドレイン管・室外機（移動しながら施工すること）	冷媒管・ドレイン管・室外機	
			樋	堅樋・呼樋	S G P 100φ 65φ メッキ処理 取付金物 S O P（2号棟は呼樋無）	
			開口部	P S 扉・点検口扉	扉・枠：防錆処理S O P	
				アルミ手摺	【取外し】アルミ手摺2000×900	
				窓庇	ボンデ鋼板1.6t 焼付塗装	
			フード	ダクト接続	【新設】アルミ製深型フードワイド水切タイプ 標準タイプ 縦ギャラリ 網5メッシュ 100φ 150φ	
			シーリング材		【新設】シーリング	
			壁		コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E	
			巾木		コンクリート打放し【改修】下地改修の上 モルタル刷毛引き2t	
			庇	平場	コンクリート金ゴテ押え	
				立下り	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
				下端	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
			屋根		フッ素樹脂鋼板0.4t 瓦棒葺（芯木無し）	
			屋根下端		コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
			外壁	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	コンクリート打放し【改修】下地改修の上 可とう形改修塗材 C E	
				タイル張	タイル張【改修】下地改修	
			外壁巾木	モルタル25t 刷毛引き	モルタル25t 刷毛引き【改修】下地改修の上 基礎巾木用塗り材	
			ポーチ庇	平場・立上り	モルタル塗【撤去】シート防水1.2t（非歩行用）	
				外側壁	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
				下端	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
				ドレイン	【撤去】鋳鉄製ルーフドレイン75φストレーナー	
			三角庇	笠木	【取外し】アルミ製笠木175w	
				上端・立下り	コンクリート打放し【撤去】アクリル樹脂エナメル吹付	
			開口部	下端	コンクリート打放し【撤去】アクリル樹脂エナメル吹付	
				換気口	【撤去】破損アルミガラリ250w×200h 水切付	
			堅樋	窓	【撤去・取外し】割れフロート板ガラス5t・ガスケット	
					【撤去】カラーV U 75φ 取付金物	
			フード	ダクト接続	【新設】アルミ製深型フードワイド水切タイプ 標準タイプ 縦ギャラリ 網5メッシュ 150φ 北面のみ F D 付（厨房排気系統120度 一般部72度）	
			冷媒管・ドレイン管	冷媒管・ドレイン管（移動しながら施工すること）	冷媒管・ドレイン管	
			シーリング材	【撤去】シーリング	【新設】シーリング	
			屋根・庇	平場・立上り	モルタル塗【撤去】塩化ビニル樹脂系シート防水2t	
				外側壁	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
				下端	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	
				笠木	【撤去】アルミ製笠木150w	
			外壁	コンクリート打放し【撤去】アクリル系リシン吹付	コンクリート打放し【改修】下地改修の上可とう形改修塗材 C E	
			外壁巾木	コンクリート打放し	コンクリート打放し【改修】下地改修の上モルタル刷毛引き2t	
			開口部	扉・枠：ｽﾃｰﾙ O P 框：【撤去】割れ網入り型板ｶﾞﾗｽ6.8t・ｼｰﾘﾝｸﾞ	扉・枠：ｽﾃｰﾙ O P【改修】S O P 塗替え 框：【新設】網入り型板ｶﾞﾗｽ6.8t・ｼｰﾘﾝｸﾞ	
			シーリング材	【撤去】シーリング	【新設】シーリング	
			フェンス	【撤去】フェンス	【再取付】フェンス	

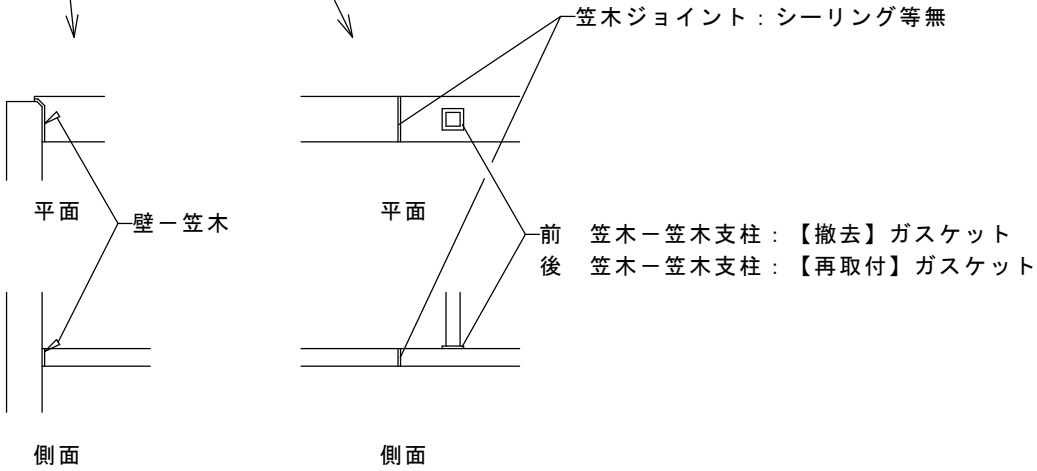
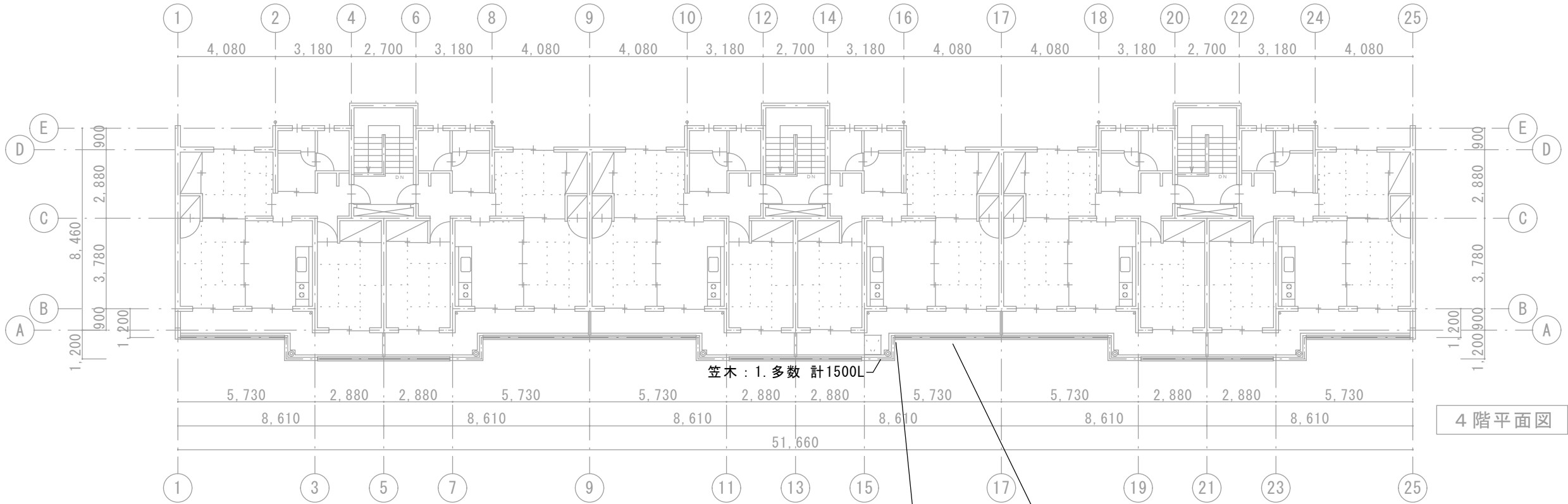
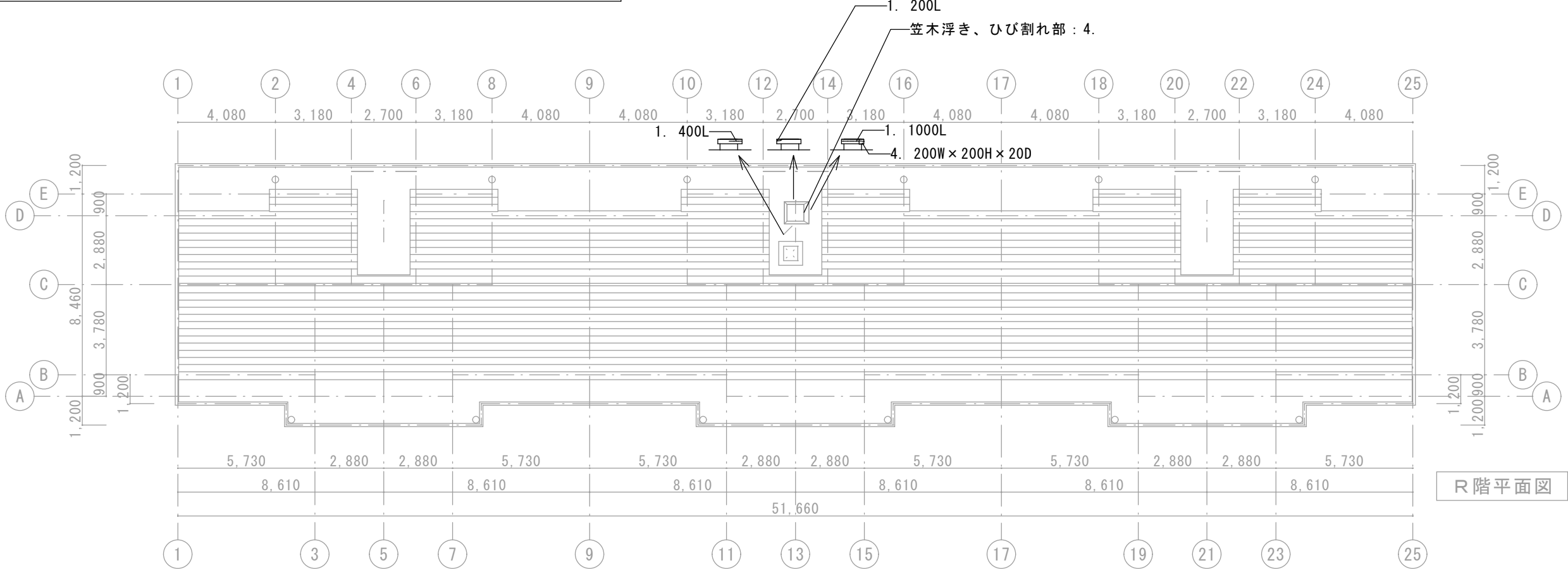
[illegible]



工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	2号棟 平面図 1 / A2 1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-07
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

下地状況及び改修方法

図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シーリング工法 可とう性エポキシ樹脂充填
1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布
2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
3. 欠損→モルタル塗り替え工法
4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



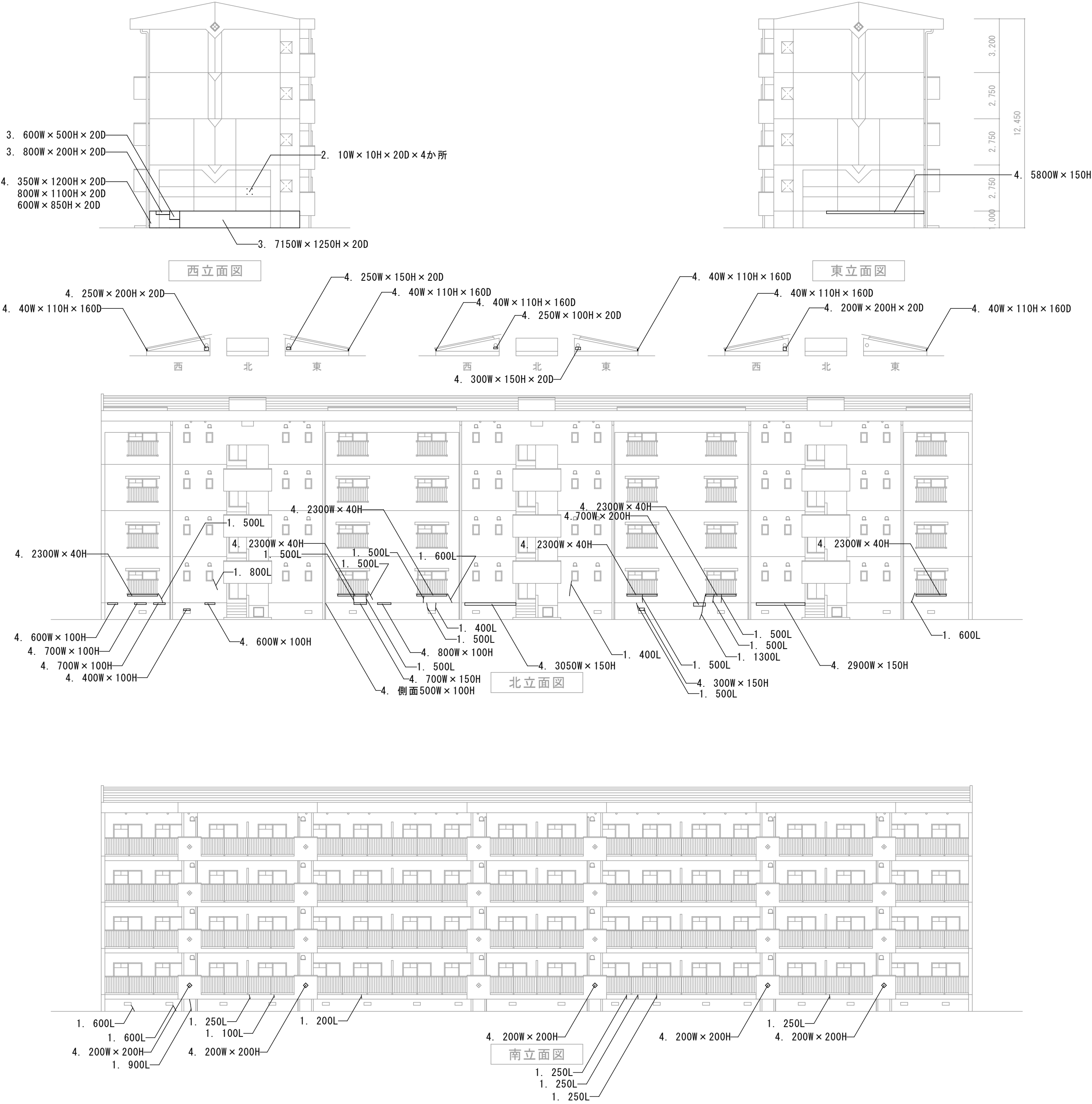
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

凡例
◀ 前
▶ 後
【撤去】シーリング
【新設】シーリング

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	2号棟 平面図2 / A2 1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-08
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

下地状況及び改修方法

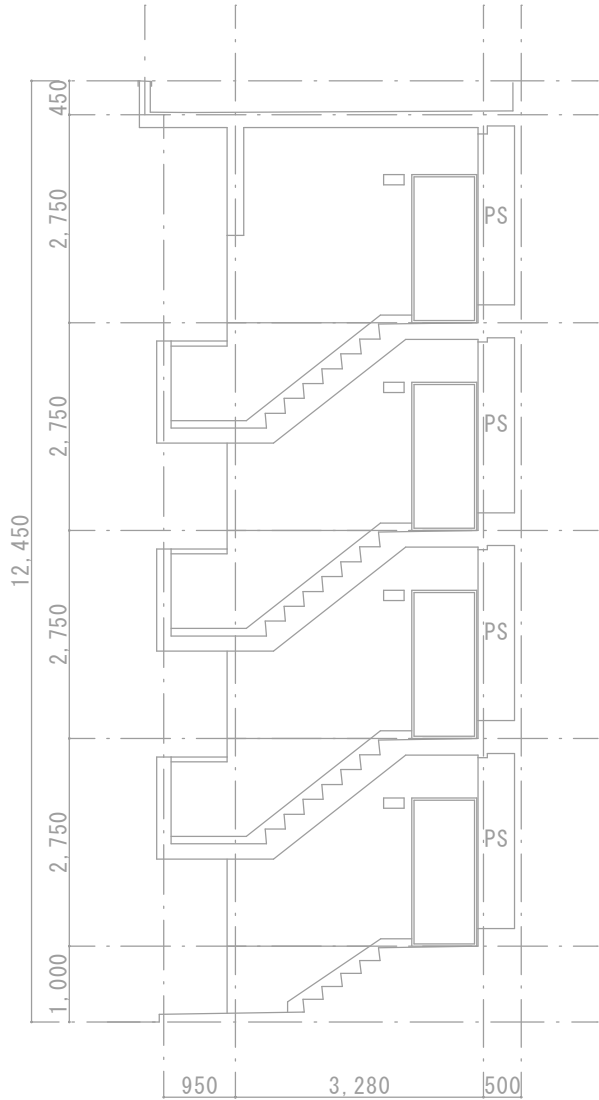
図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シーリング工 可とう性エポキシ樹脂充填
1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布
2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
3. 欠損→モルタル塗替え工法
4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



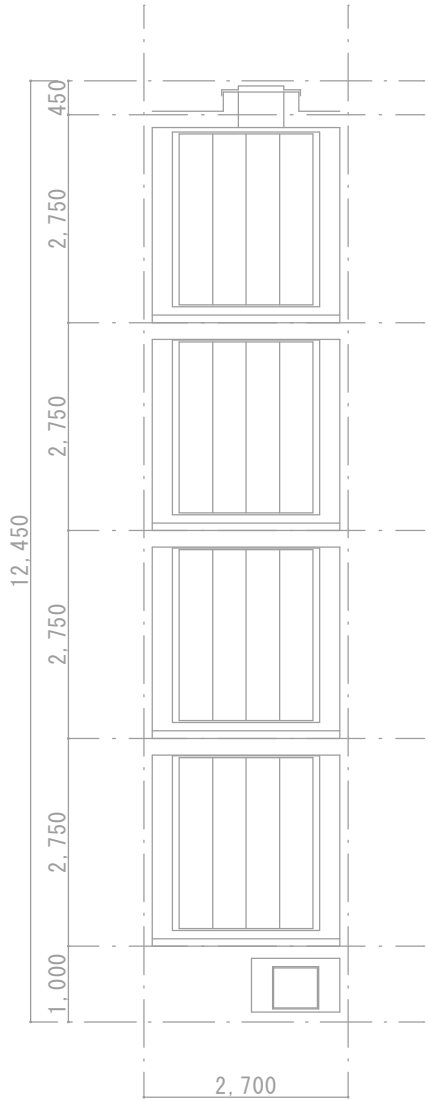
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	2号棟 立面図 / A2 1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-09
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

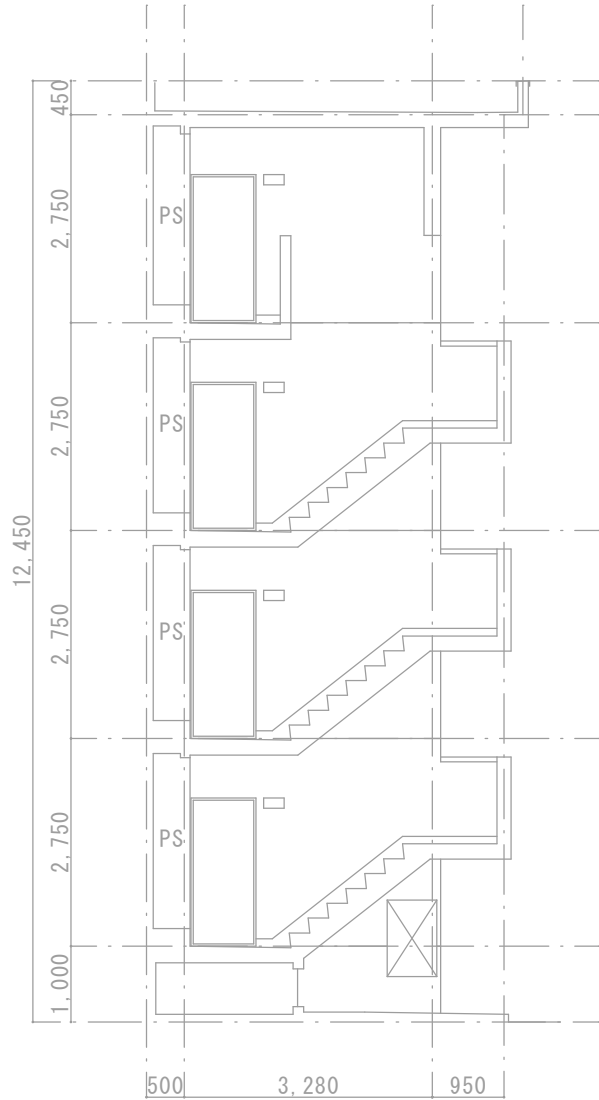
下地状況及び改修方法
図示無：ひび割れ（幅0.2mm未満）→シール工法　可とう性エポキシ樹脂充填 1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシール材充填工法　可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布 2. 欠損→充填工法　エポキシ樹脂モルタル 3. 欠損→モルタル塗替え工法 4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



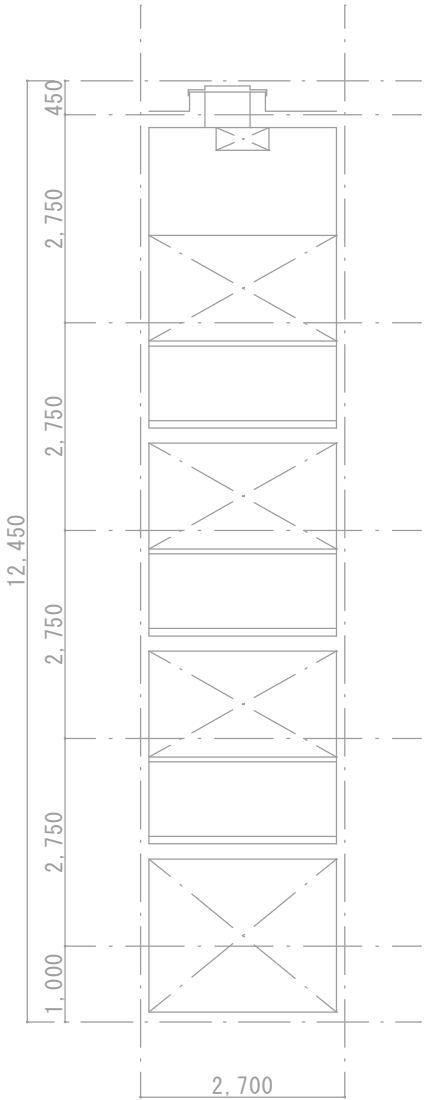
展開図 1



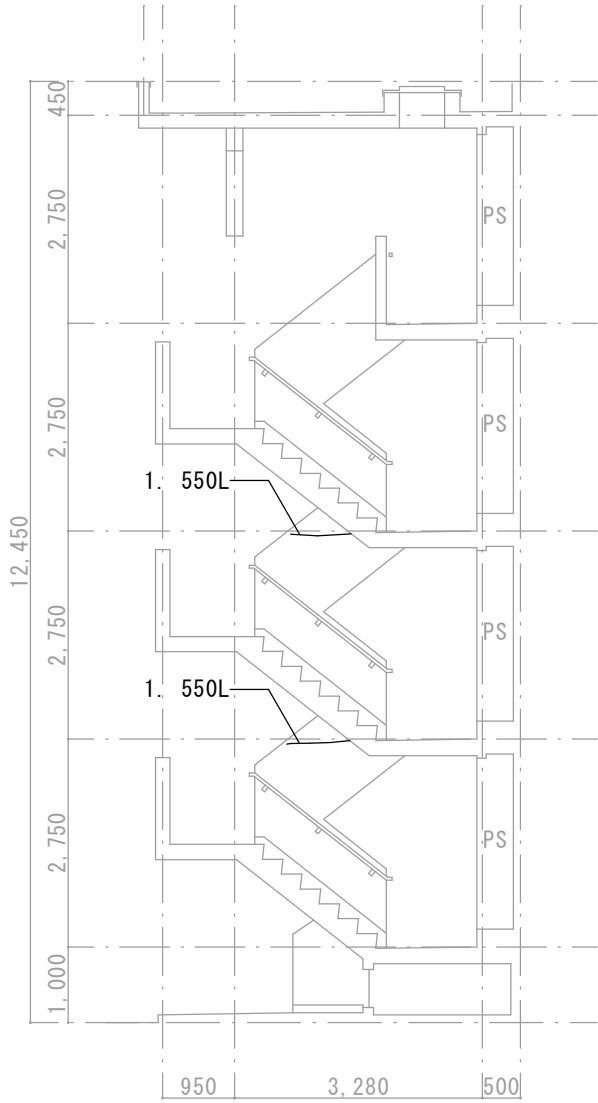
展開図 2



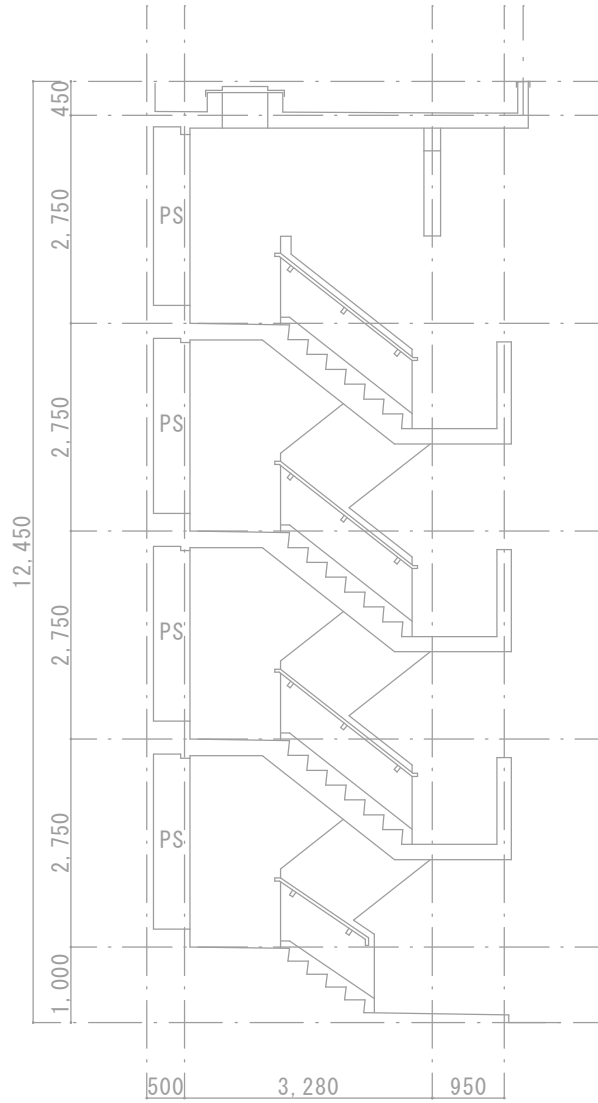
展開図 3



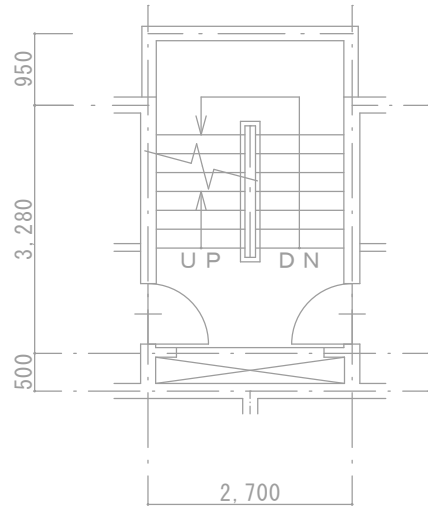
展開図 4



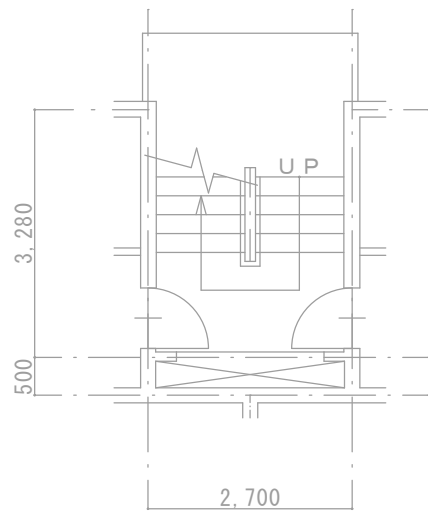
展開図 5



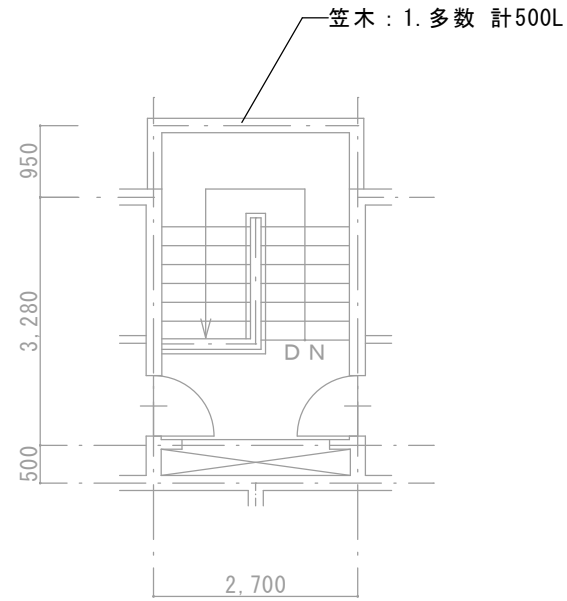
展開図 6



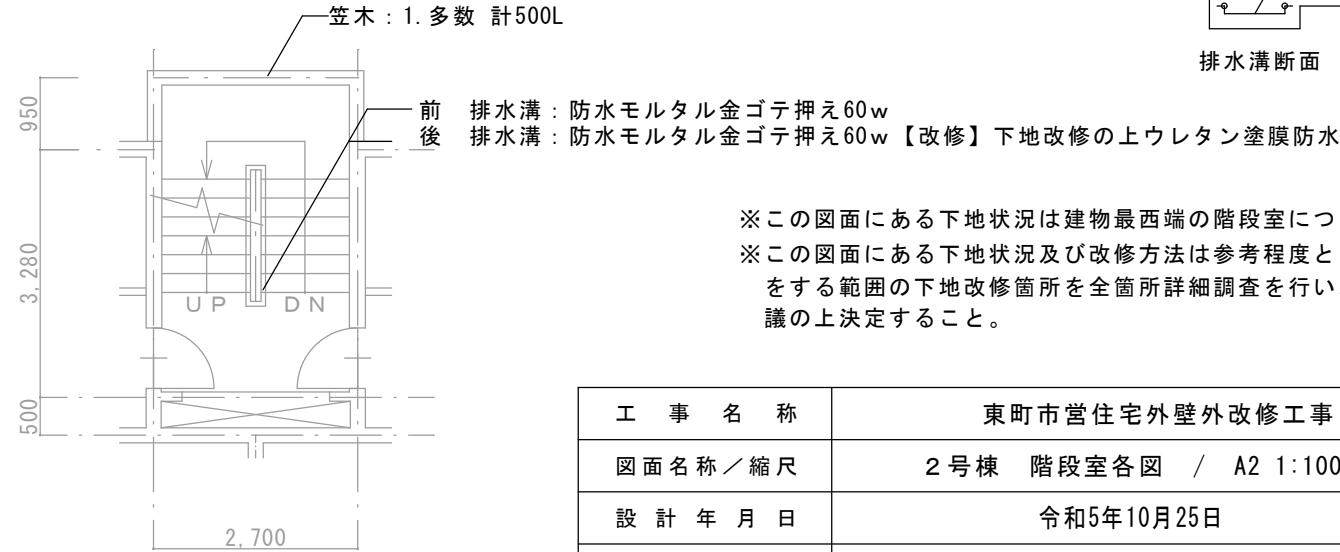
3階平面図



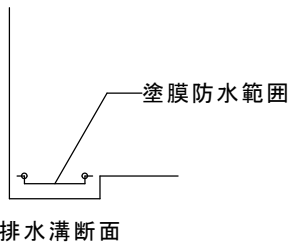
1階平面図



4階平面図



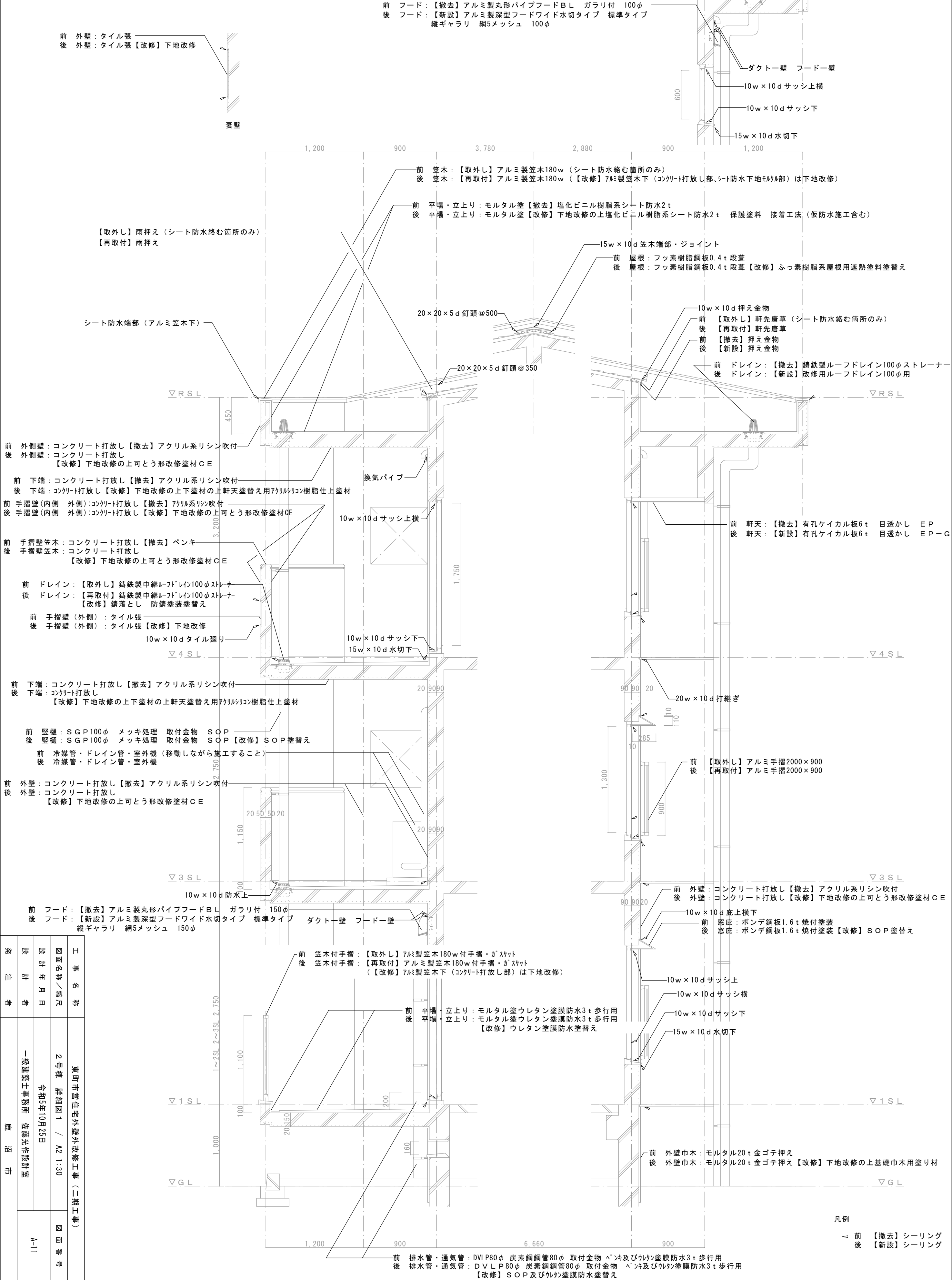
2階平面図



※この図面にある下地状況は建物最西端の階段室についてのもの。
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	2号棟 階段室各図 / A2 1:100	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-10
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

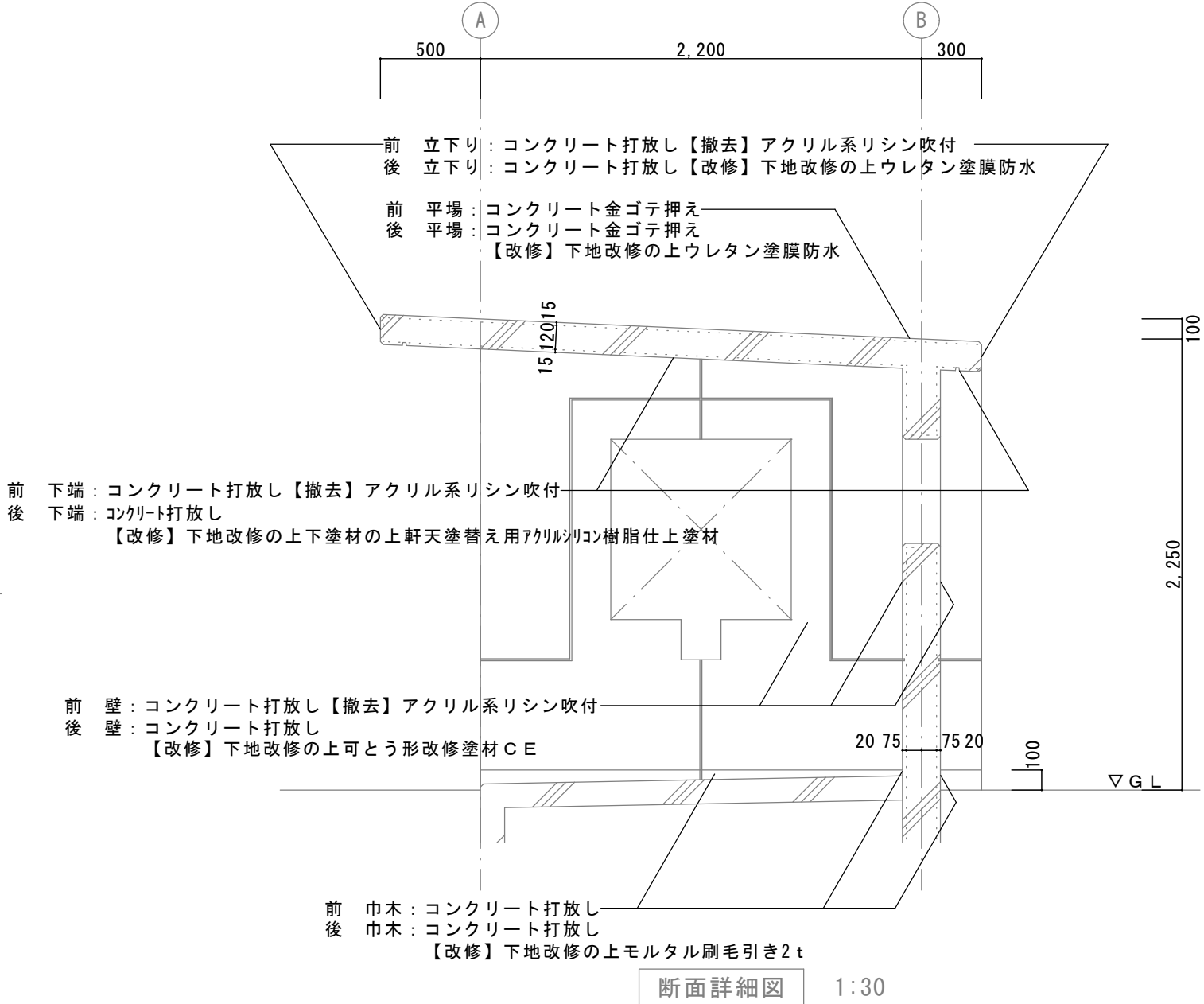
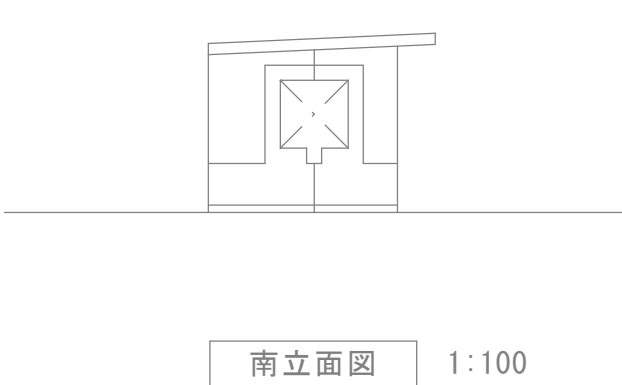
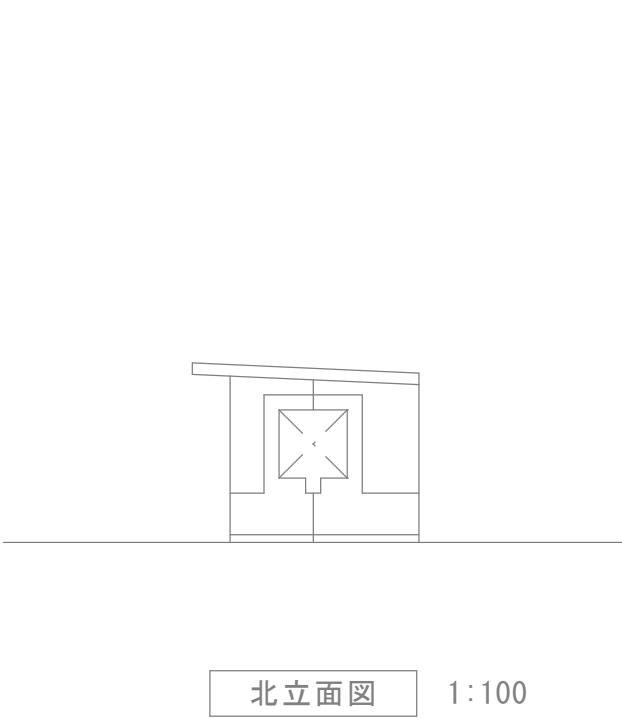
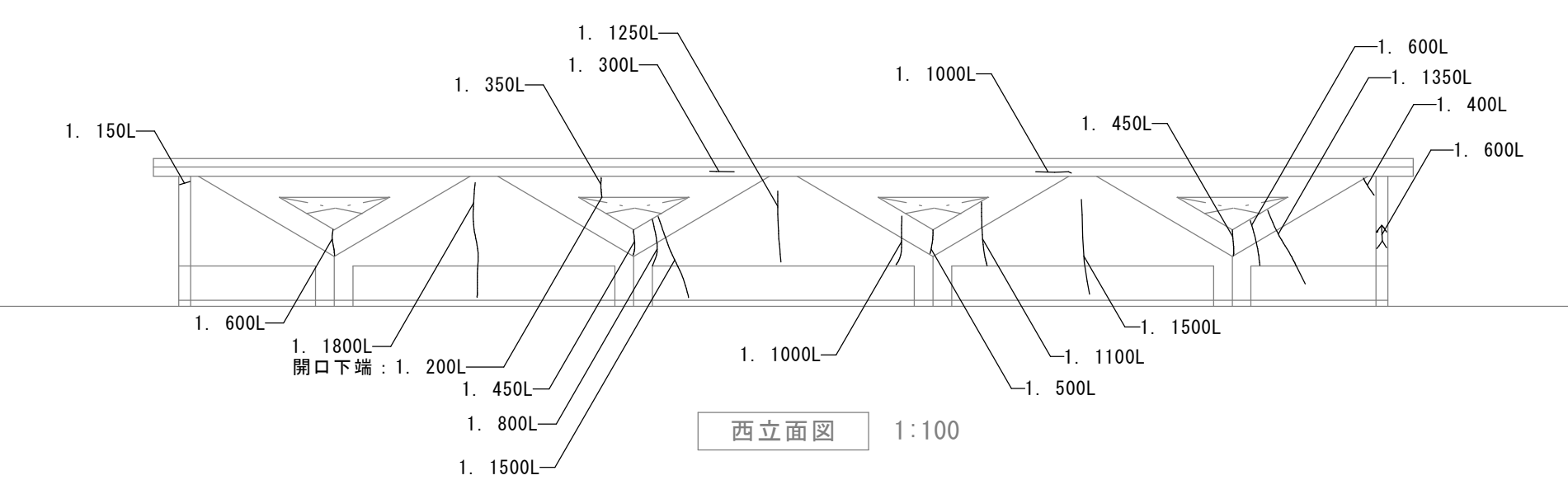
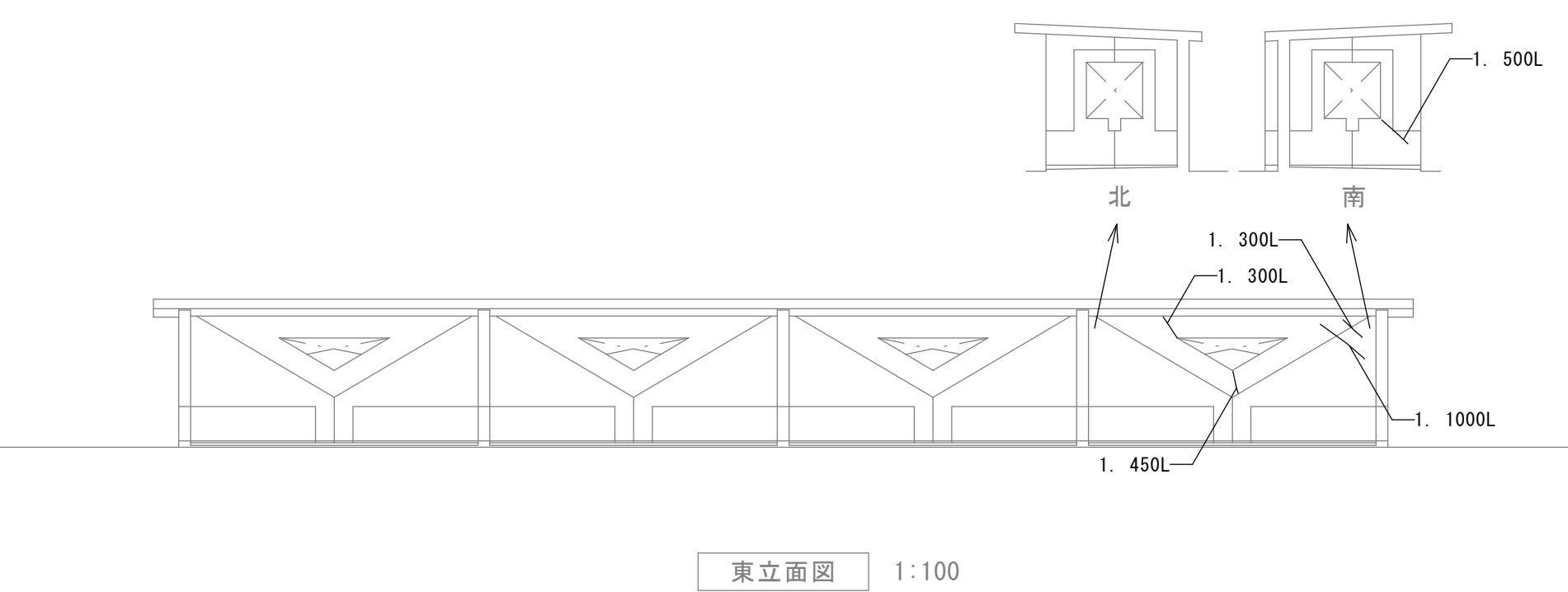
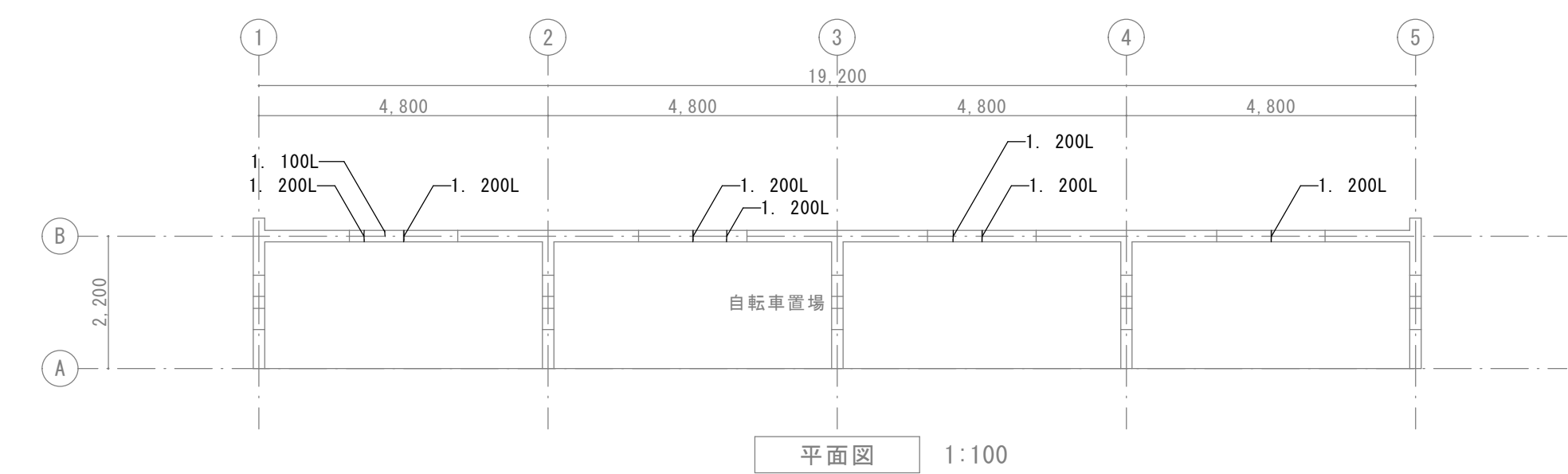
※屋根板金留め金物（釘、ビス、リベット等）の抜け、錆等の調査及び補修を行うこと。



工 事 名 称		東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	2号棟 詳細図 1 / A2 1:30	図 面 番 号	A-11
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

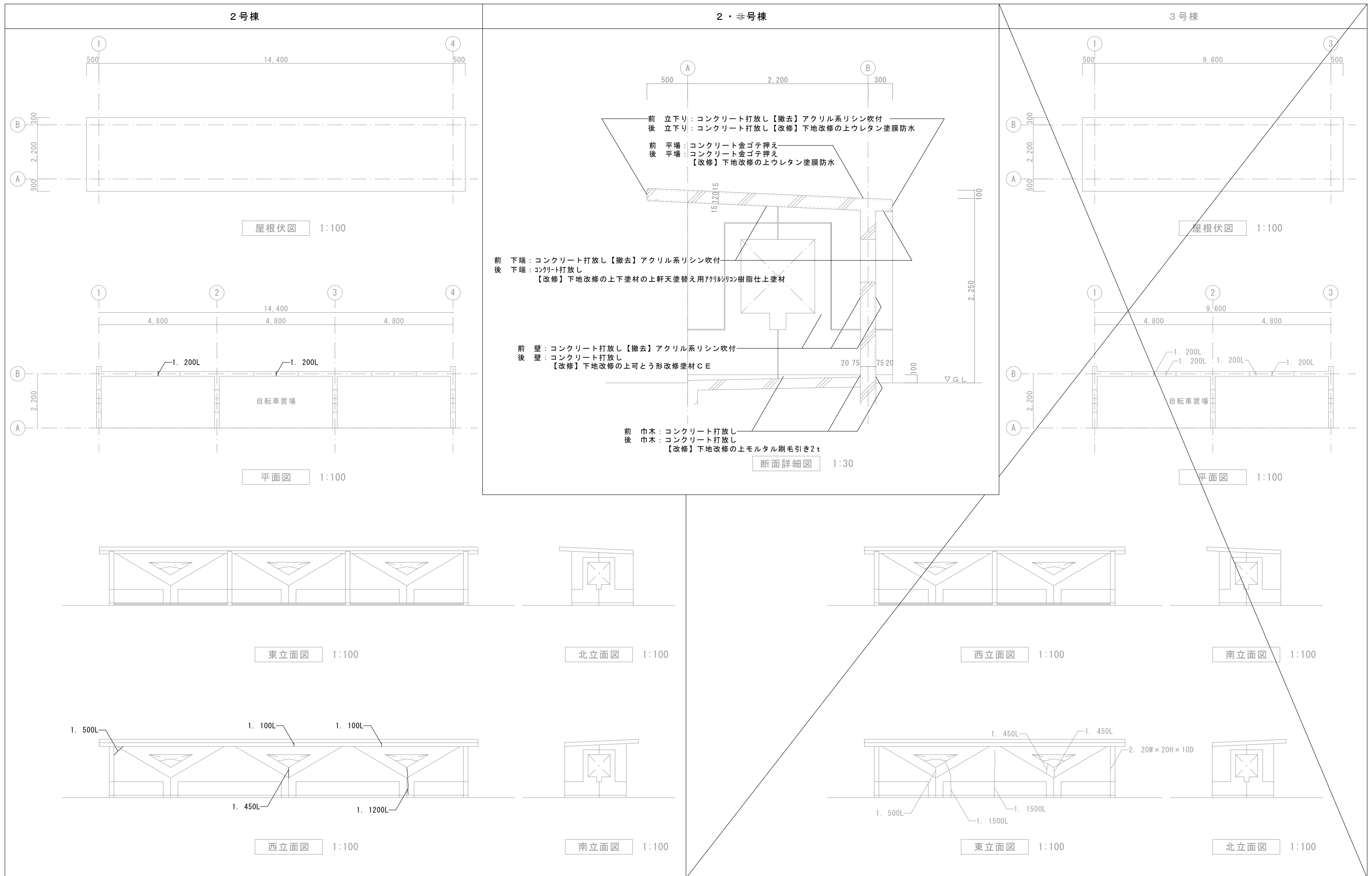
下地状況及び改修方法

図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シーリング工 可とう性エポキシ樹脂充填
1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシーリング材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布
2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル
3. 欠損→モルタル塗替え工法
4. 浮き→アンカービニング部分エポキシ樹脂注入工法



※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	1号棟自転車置場 各図 / A2 1:100 1:30	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-13
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	



下地状況及び改修方法

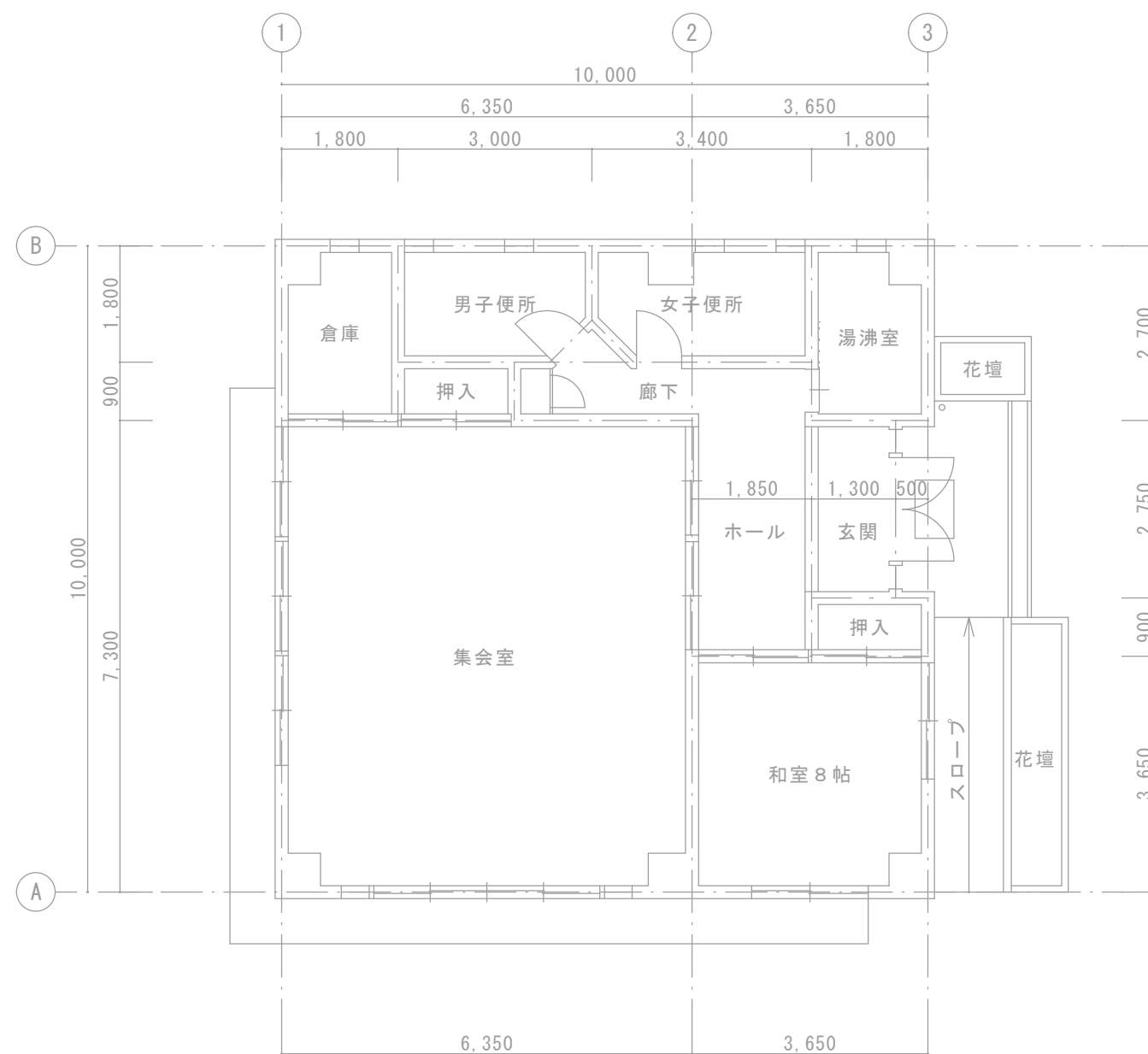
図示無. ひび割れ（幅0.2mm未満）→シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填

1. ひび割れ（幅0.2mm以上）→Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填＋珪砂散布

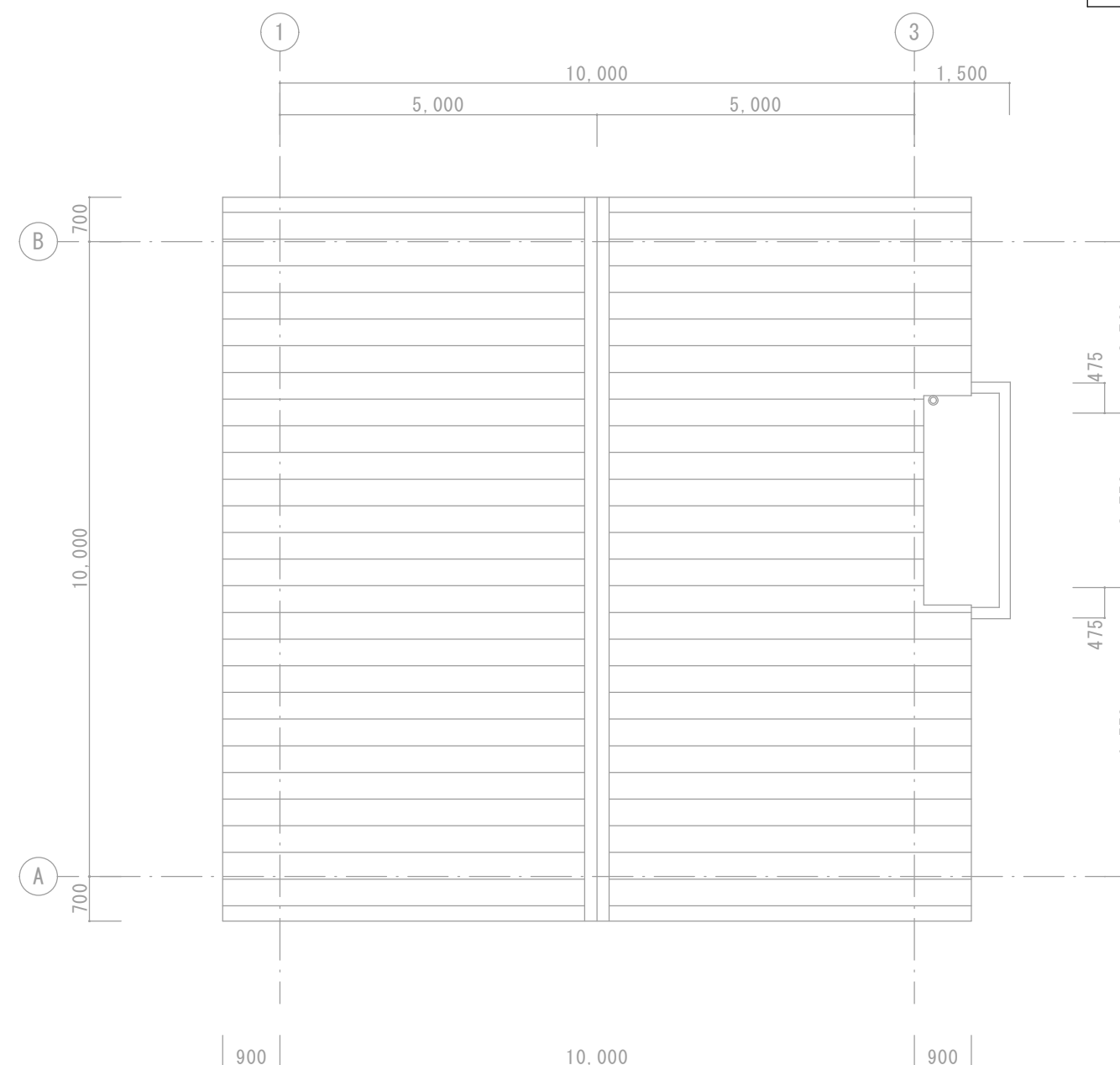
2. 欠損→充填工法 エポキシ樹脂モルタル

3. 欠損→モルタル塗替え工法

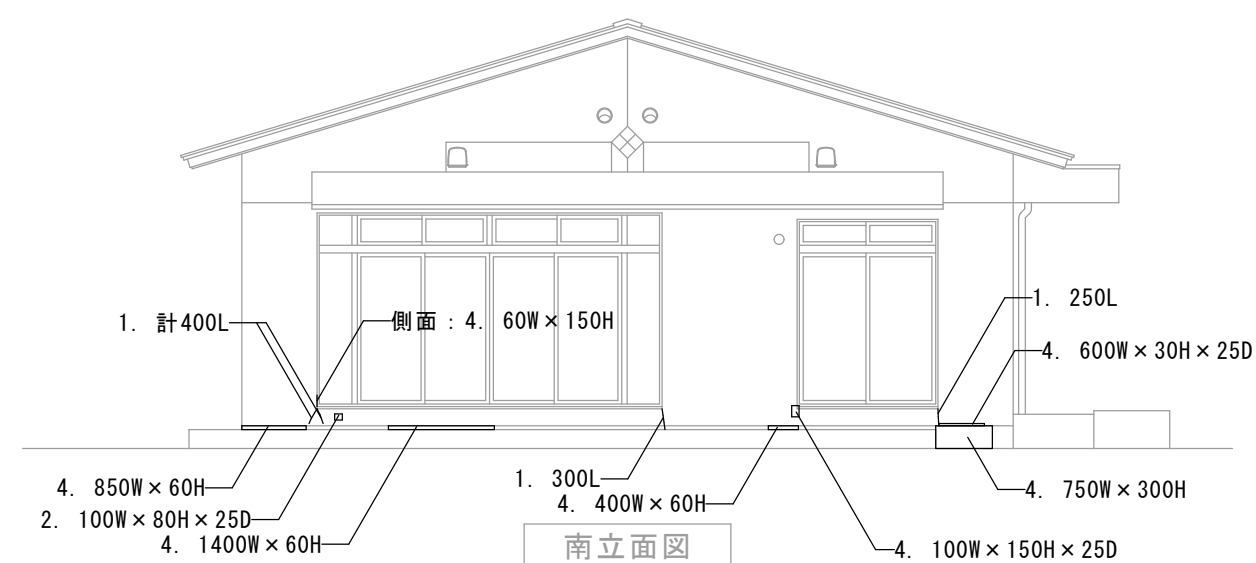
4. 浮き→アンカーピンング部分エポキシ樹脂注入工法



平面図



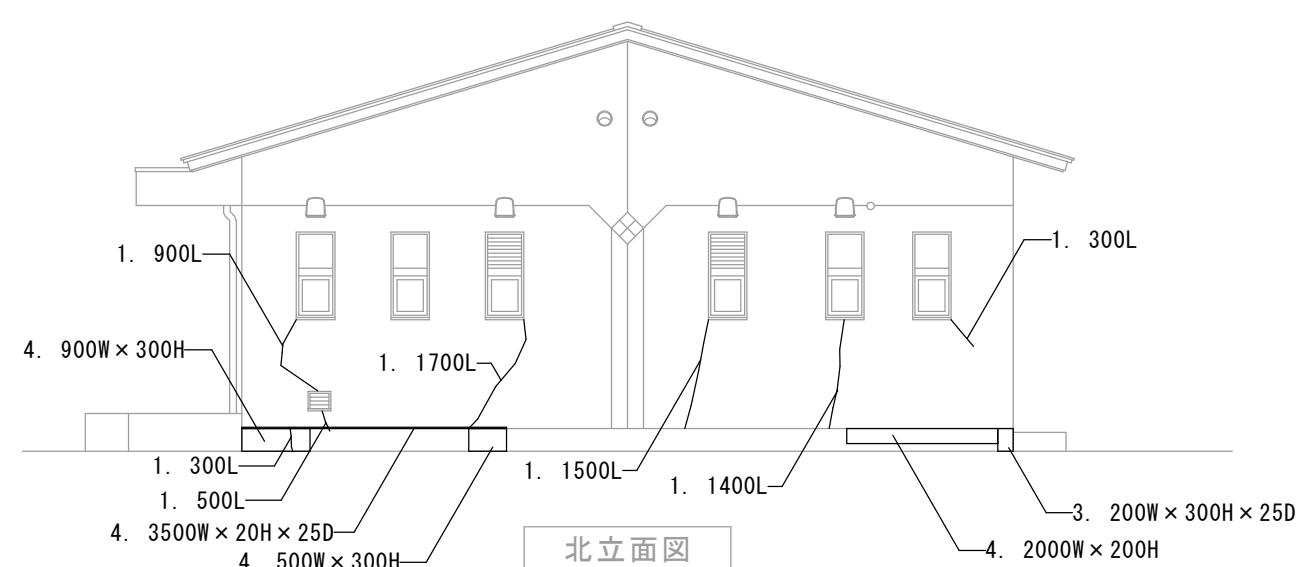
屋根伏図



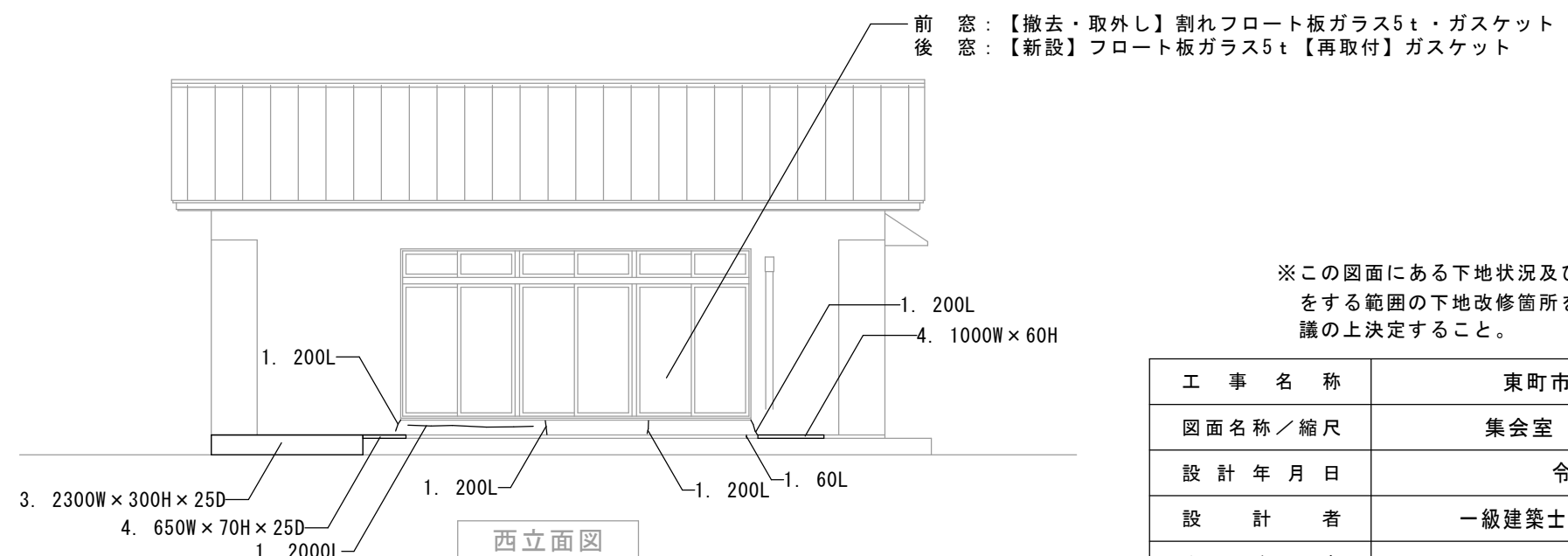
南立面图



東立面図



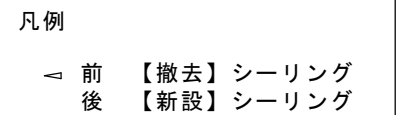
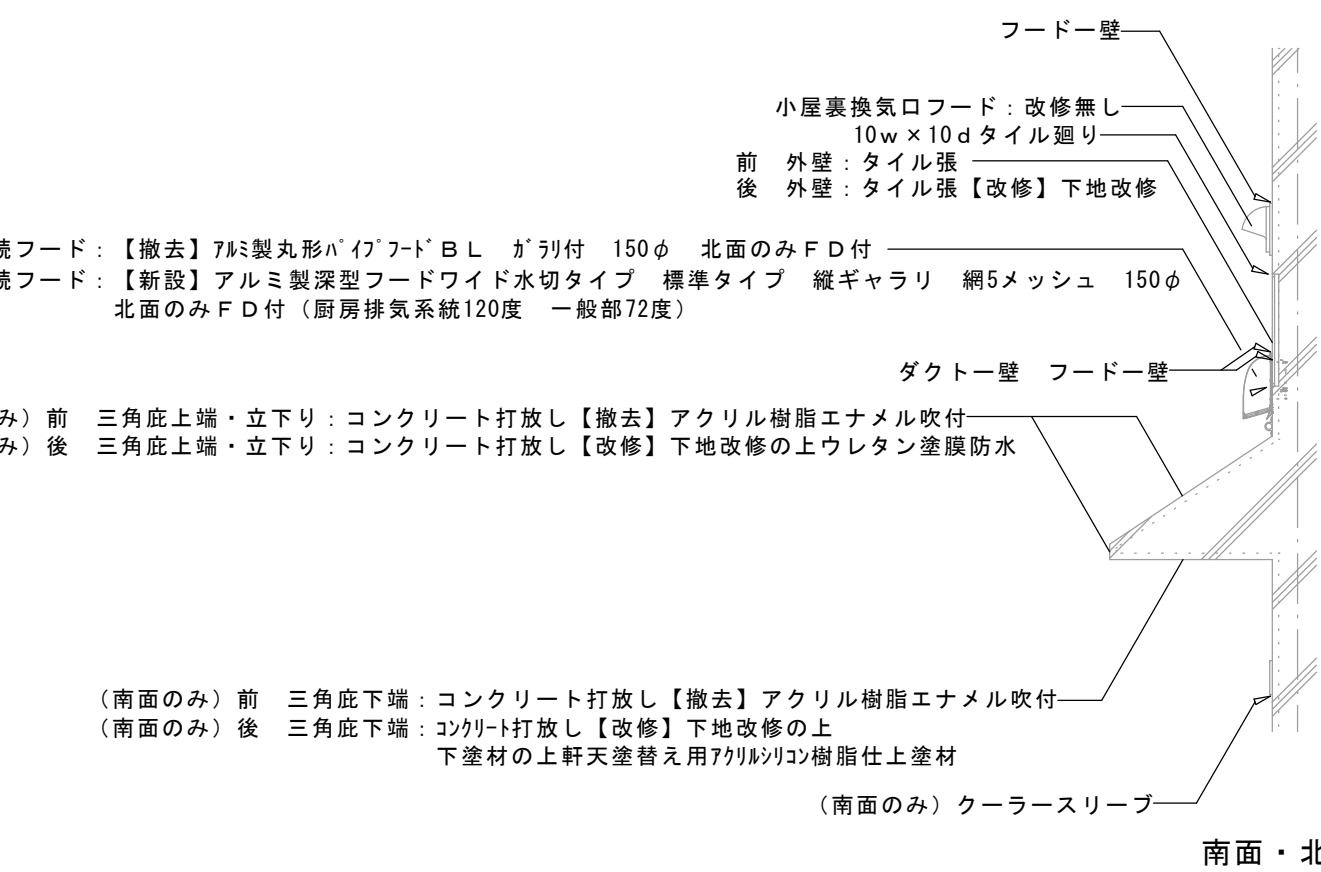
北立面图



西立面图

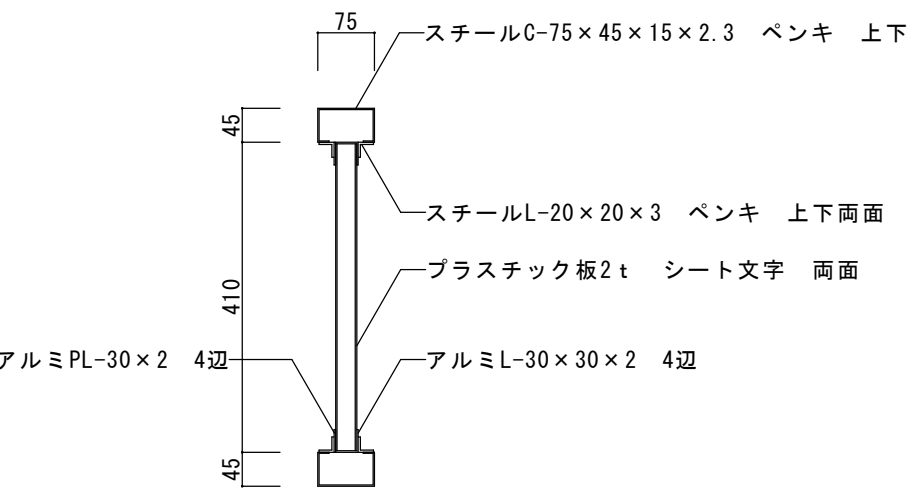
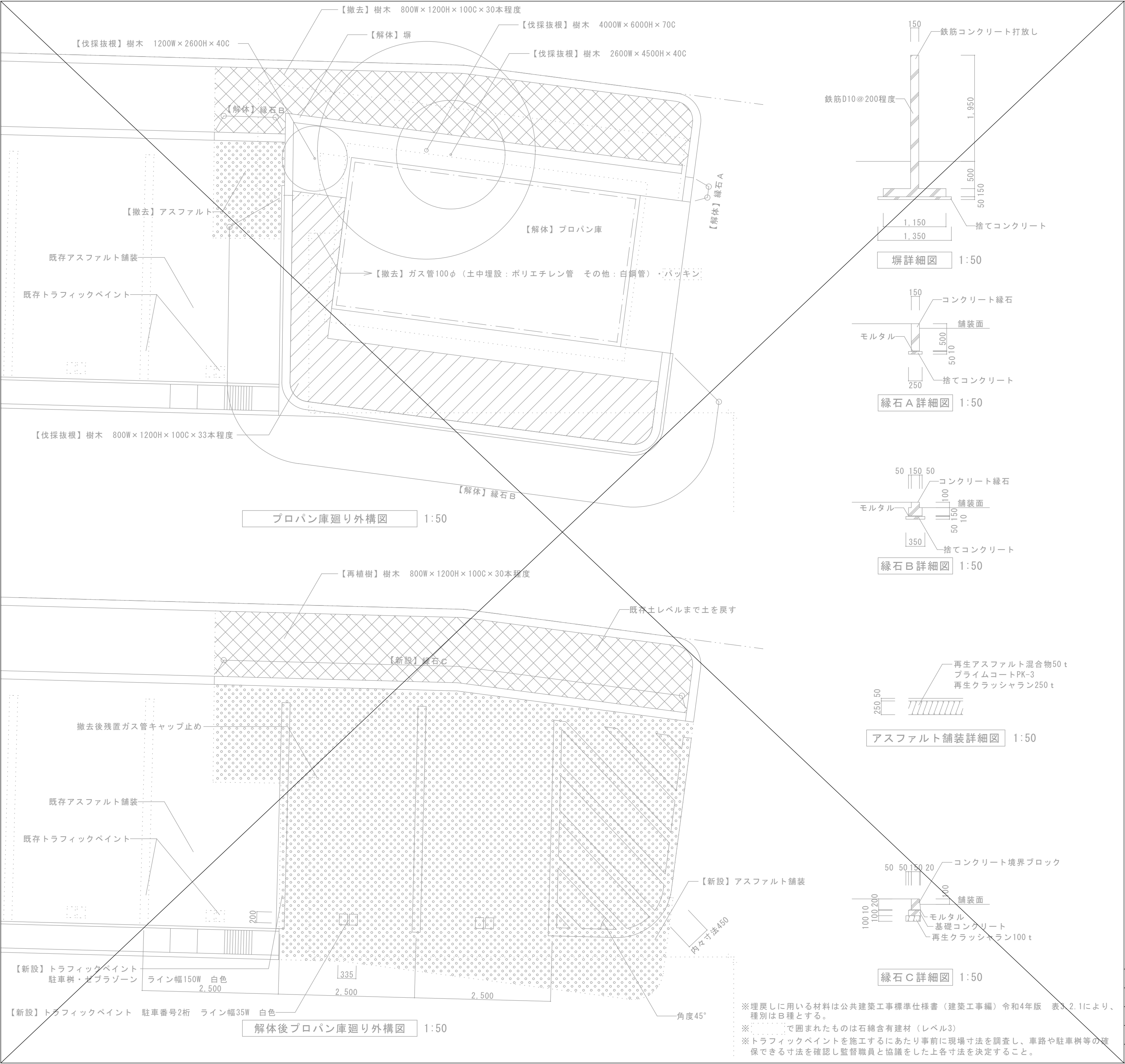
※この図面にある下地状況及び改修方法は参考程度とし、現場にて施工数量調査をする範囲の下地改修箇所を全箇所詳細調査を行い、改修方法を監督職員と協議の上決定すること。

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	集会室 各図 / A2 1:100	図面番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-15
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

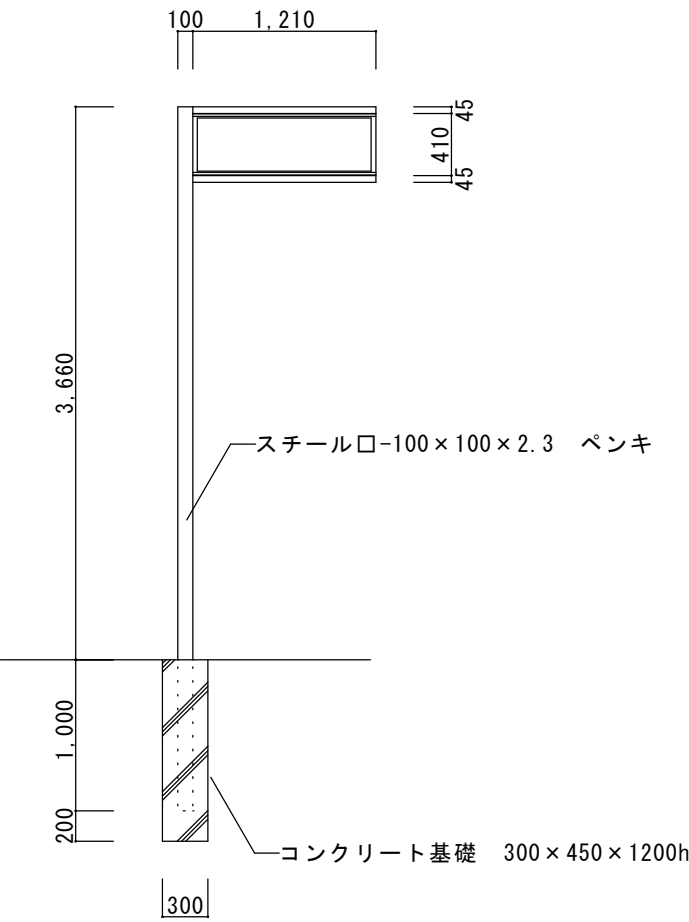


工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	集会室 詳細図 / A2 1:30	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-16
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

※屋根板金留め金物（釘、ビス、リベット等）の抜け、錆等の調査及び補修を行うこと。



表示部詳細図 1:10



看板詳細図 1:50

※【解体】上記図に記載されている全てのもの

工 事 名 称		
東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	外構 各図 / A2 1:50 1:10	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	A-17
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

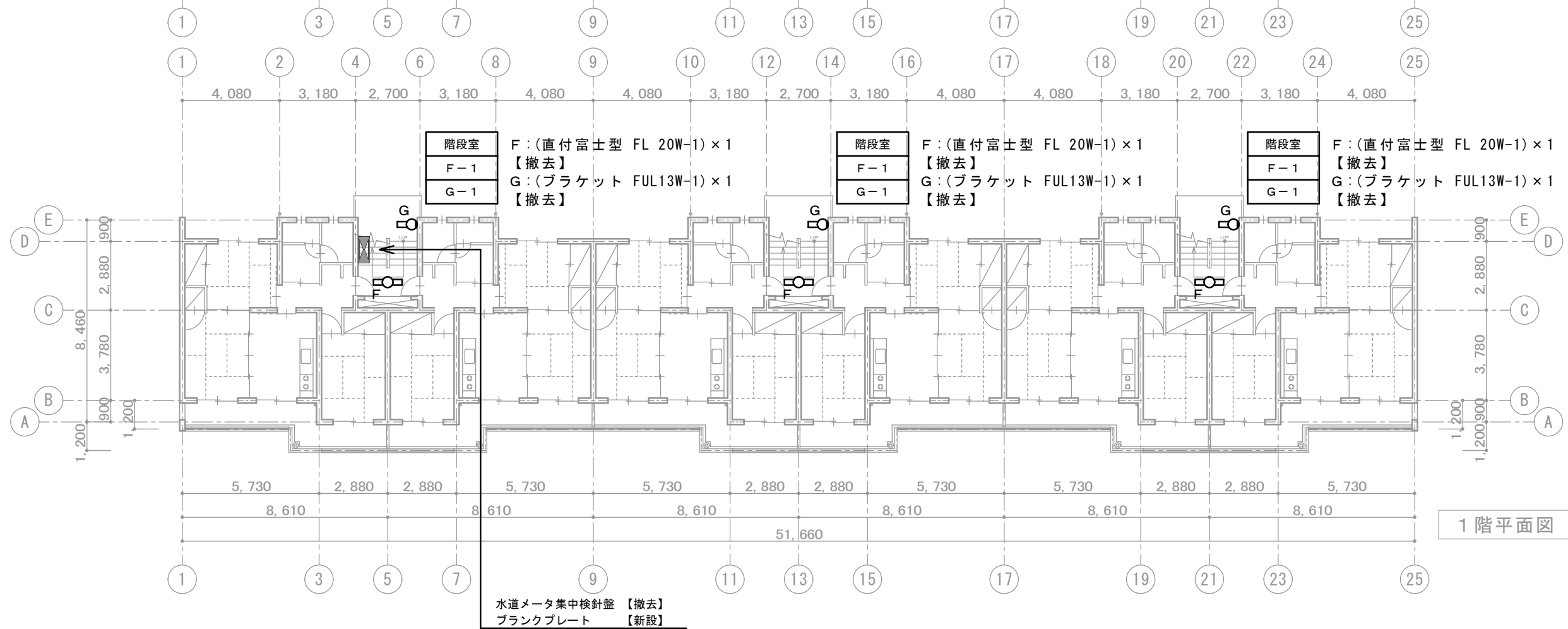
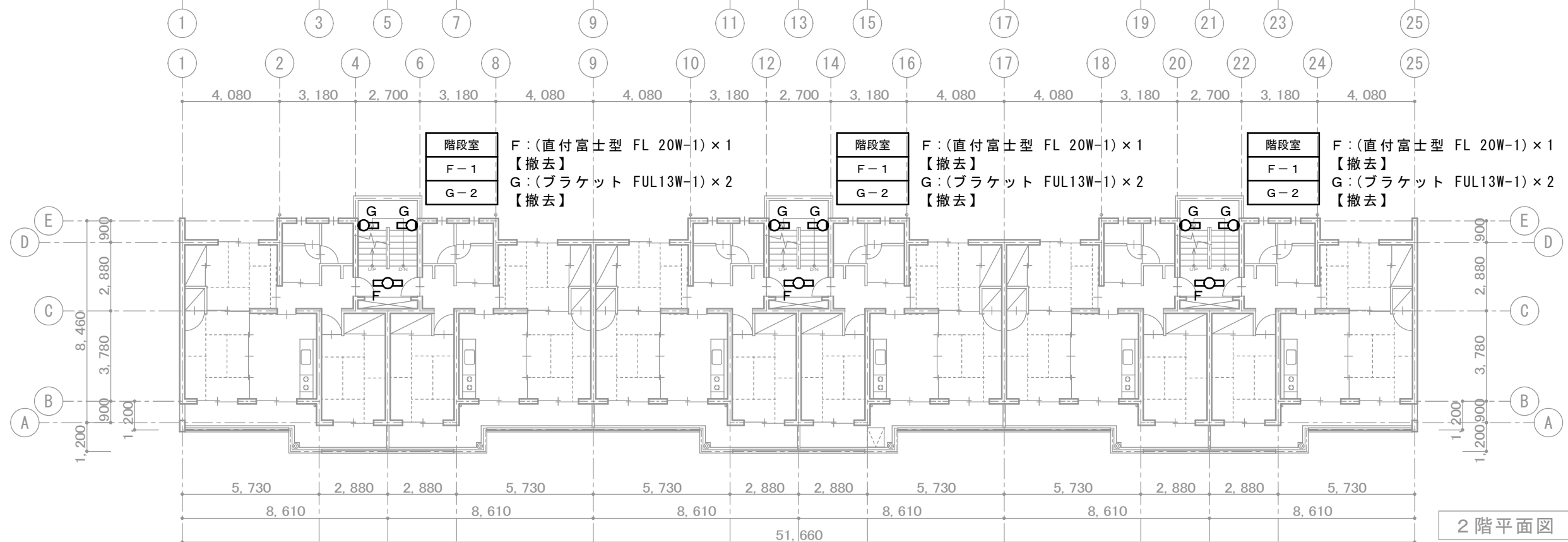
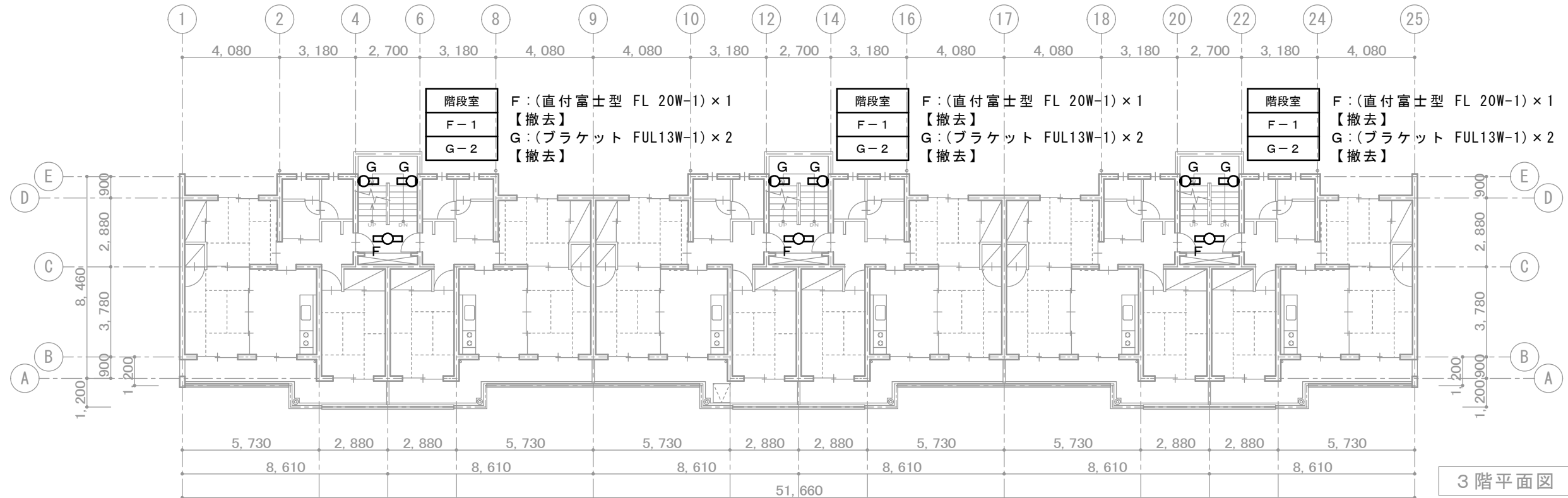
東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）
（電気設備工事）

[illegible]

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	図面リスト	A2 NO SCALE	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-00
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

撤去図

- 凡 例
- ※図中の点線器具は全て既設とする。
- ※図中の実線器具は全て撤去とする。
- ※図中撤去と記入されている器具は全て撤去する。
- ※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、必要な時は改修工事を行うこと。
- ※特記なき照明器具記号は下記による。
- ・撤去照明器具の記号は、各棟完成図に記載の記号です。

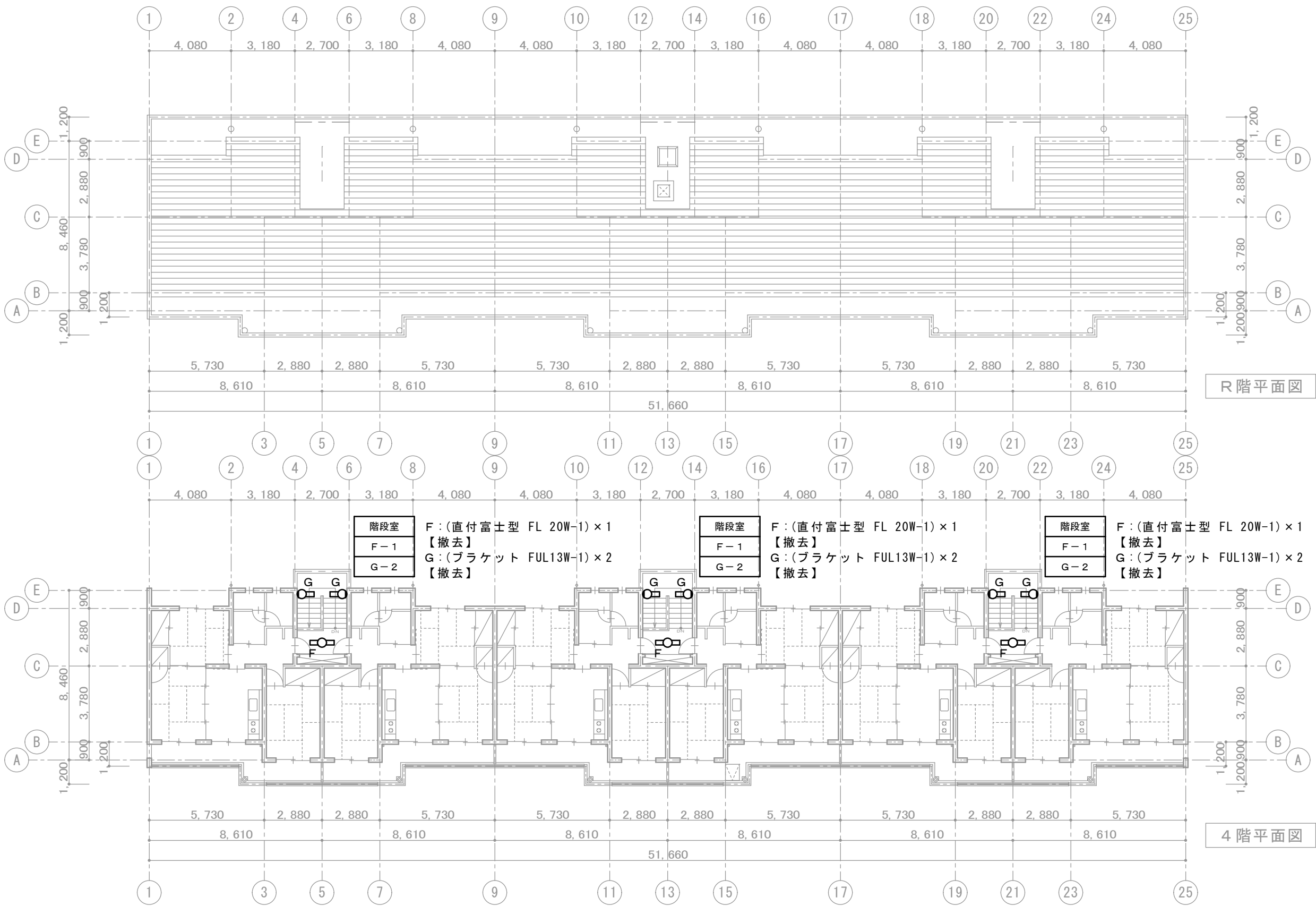


電気設備仕様書		
1. 共通仕様		
設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標仕」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標仕」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準図」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。		
（1）質問回答書（（2）から（5）に対するもの）		
（2）現場説明書		
（3）特記仕様書		
（4）図面及び設計書		
（5）標仕、改修標仕及び標準図		
2. 発生材の処理		
・廃PCB等は関係法令により適切に処理し、施設管理者に引き渡すこと。		
・蛍光ランプ、水銀ランプ等の水銀を使用しているランプは工事監視指針等により適切に処理すること。		

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 2号棟平面図（1）撤去 A2 1:200		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-0 1
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

撤去図

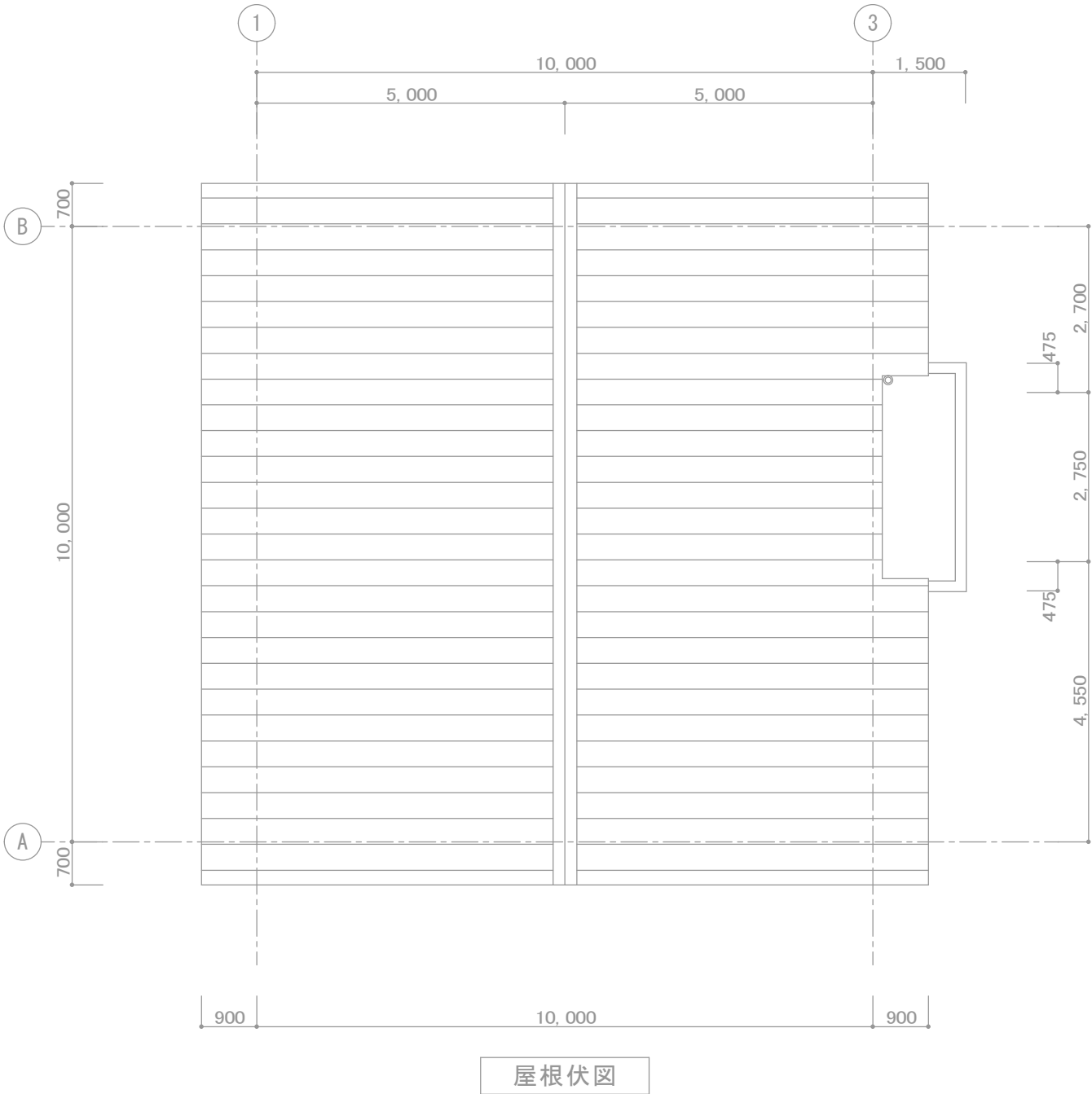
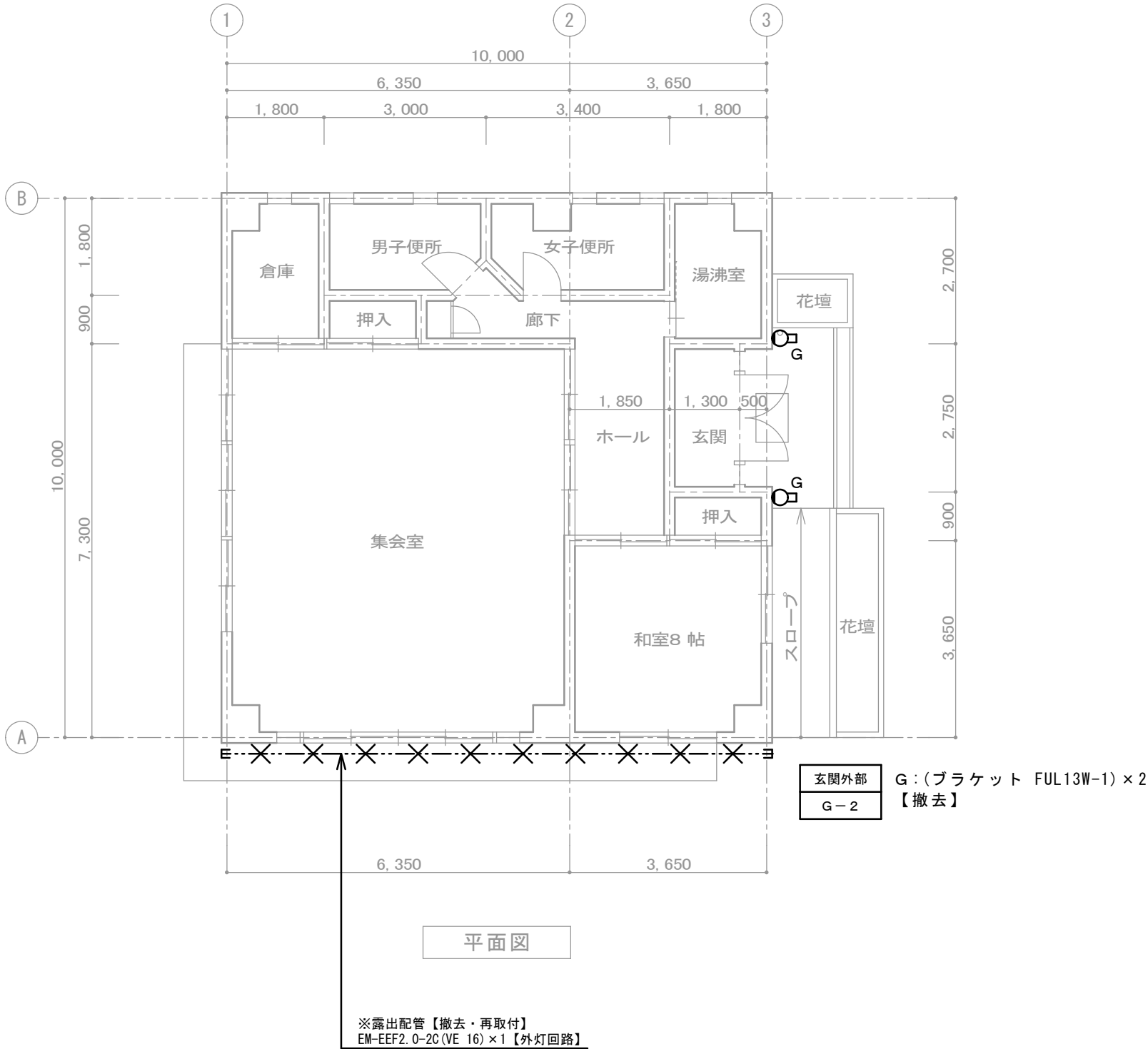
- 凡 例
- ※図中の点線器具は全て既設とする。
- ※図中の実線器具は全て撤去とする。
- ※図中撤去と記入されている器具は全て撤去する。
- ※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、
必要時は改修工事を行うこと。
- ※特記なき照明器具記号は下記による。
- ・撤去照明器具の記号は、各棟完成図に記載の記号です。



工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 2号棟平面図（2）撤去 A2 1:200		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-0 2
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

撤去図

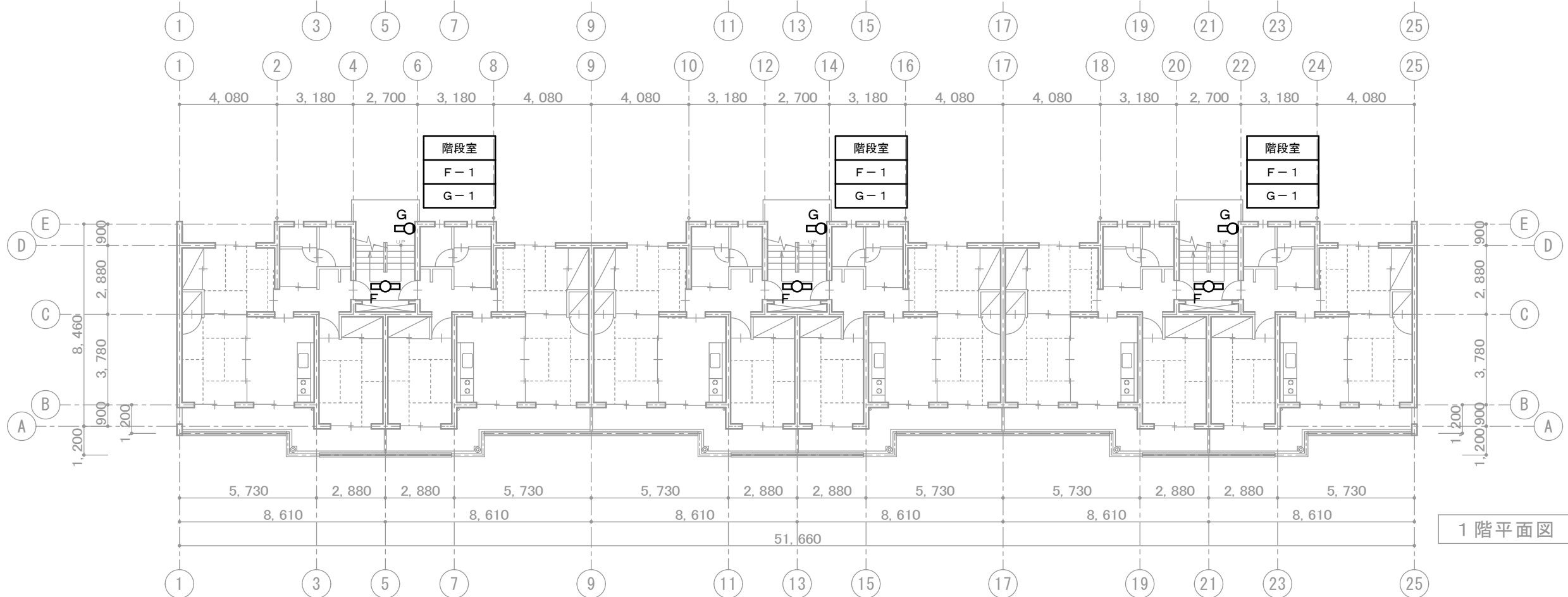
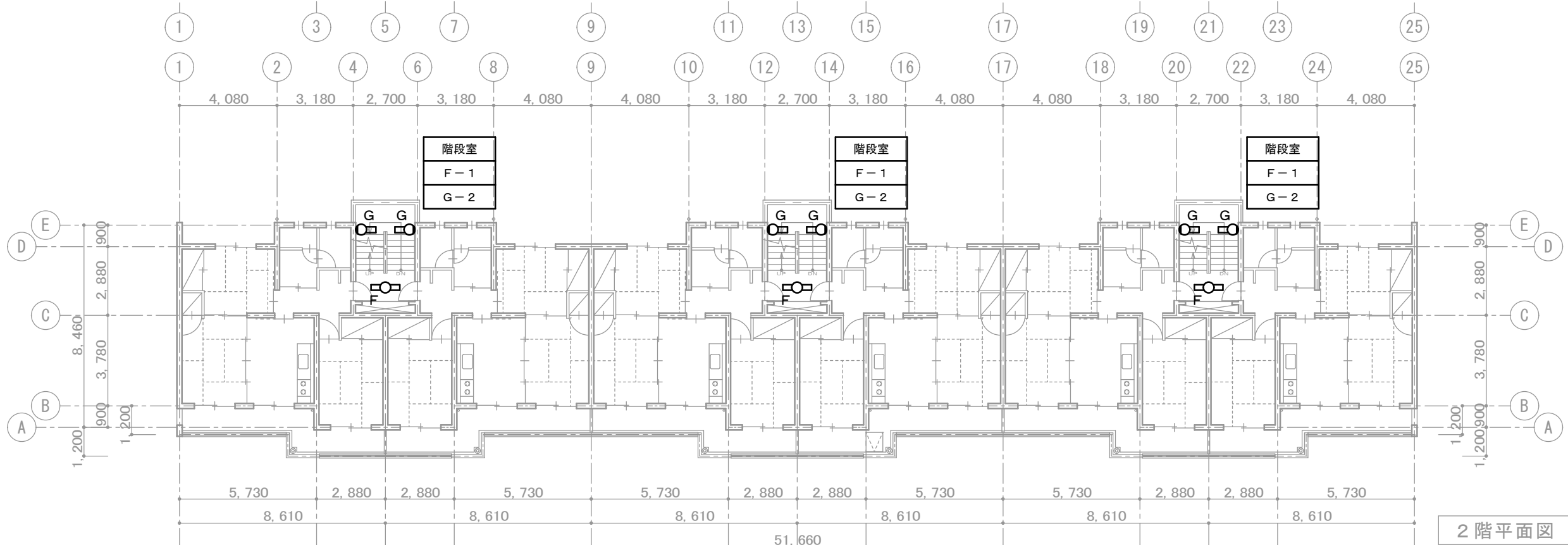
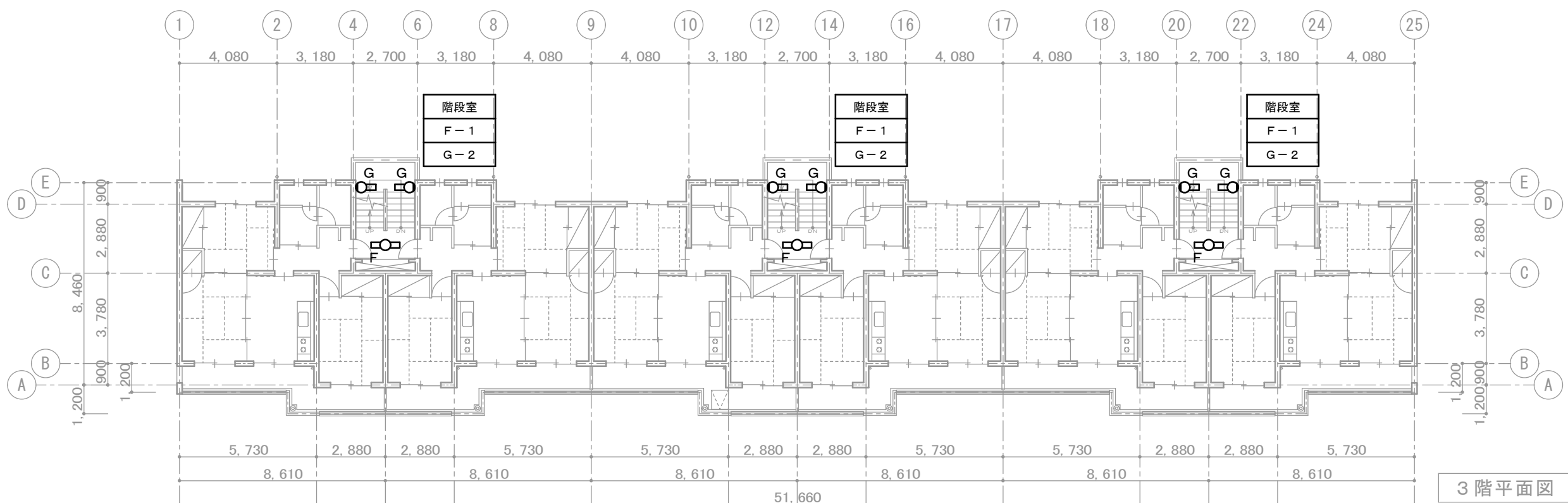
凡 例	
※図中の点線器具は全て既設とする。	
※図中の実線器具は全て撤去とする。	
※図中撤去と記入されている器具は全て撤去する。	
※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、 必要な時は改修工事を行うこと。	
※特記なき照明器具記号は下記による。	
・ 撤去照明器具の記号は、各棟完成図に記載の記号です。	
※特記なき配管配線は下記による。	
撤去・改修	
-----	既設配管・ケーブル
---×---×---	既設配管・ケーブル（撤去）



工 事 名 称		
東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 集会室平面図 撤去 A2 1:100	図面番号
設計年月日	令和5年10月25日	E-03
設計者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発注者	鹿 沼 市	

改修図

凡 例
※図中の実線器具は全て新設とする。
※図中の点線器具は全て既設とする。
※機器交換・撤去に伴う既設配線切回しも行うこと。
※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、 必要な時は改修工事を行うこと。

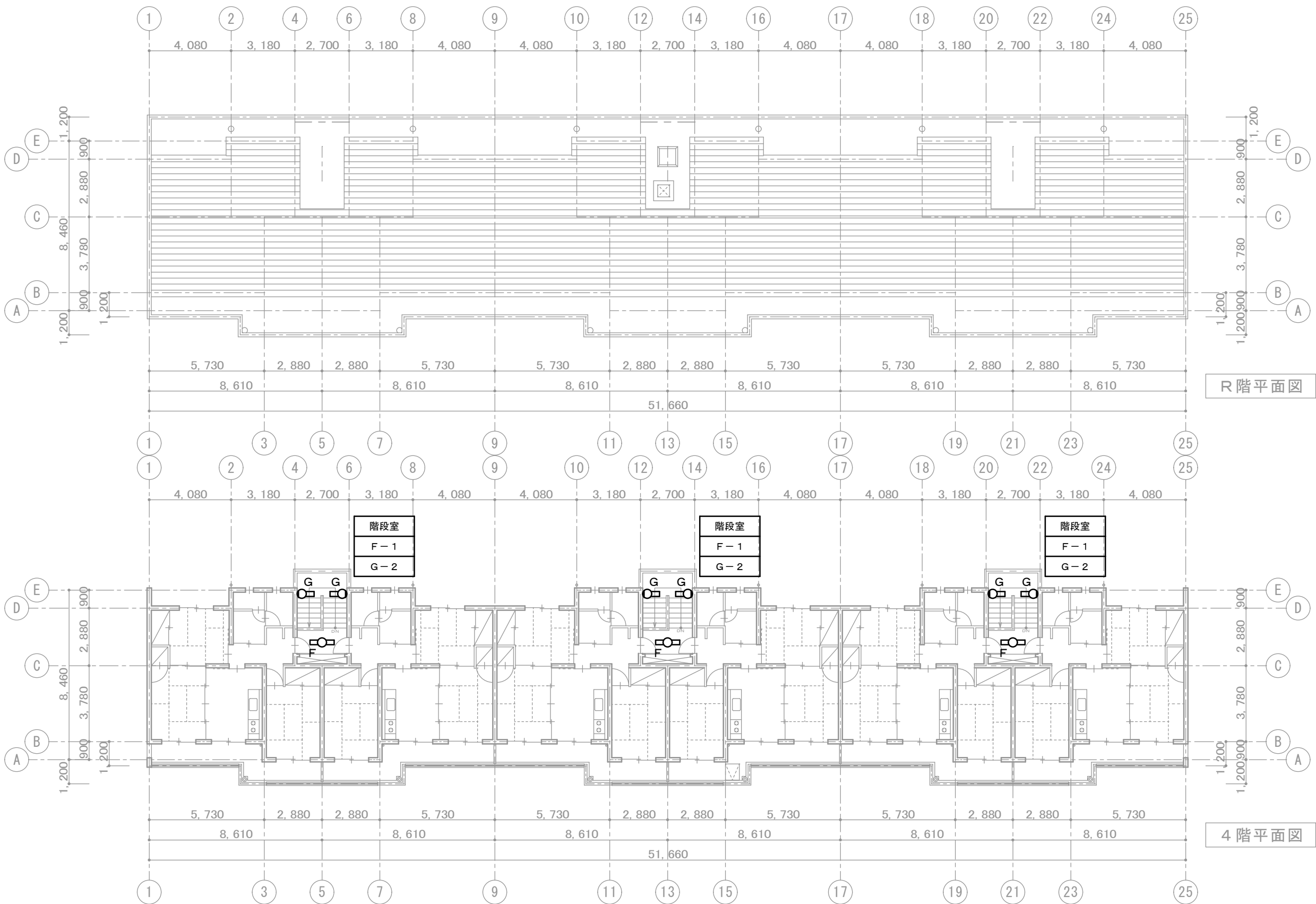


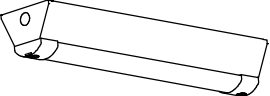
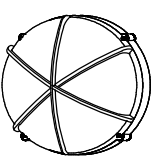
F	F	—
光源	LED20型	—
器具電圧	100~200V	—
器具型式	直付型 W=120	—
備考	800lmタイプ 光色昼白色 防湿・防雨型	—
133.5lm/w (5.9W)		(FL20W×1相当)
【グリーン購入法適合品】 【参考】LEKTW212084N-LS9同等品		
G	G	—
光源	LED(10.3W)	—
器具電圧	100V	—
器具型式	ブラケット	—
備考	850lmタイプ 防湿・防雨型 ランプ：LDF10NH53/C20/1200	—
82.5lm/w (10.3W)		(FL20W×1相当)
【参考】LEDG85904+LDF10NH53/C20/1200同等品		

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）	
図面名称／縮尺	電灯設備 2号棟平面図（1）改修 A2 1:200	図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日	E-04
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室	
発 注 者	鹿 沼 市	

改修図

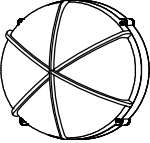
- 凡 例
- ※図中の実線器具は全て新設とする。
- ※図中の点線器具は全て既設とする。
- ※機器交換・撤去に伴う既設配線切回しも行うこと。
- ※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、
必要な時は改修工事を行うこと。



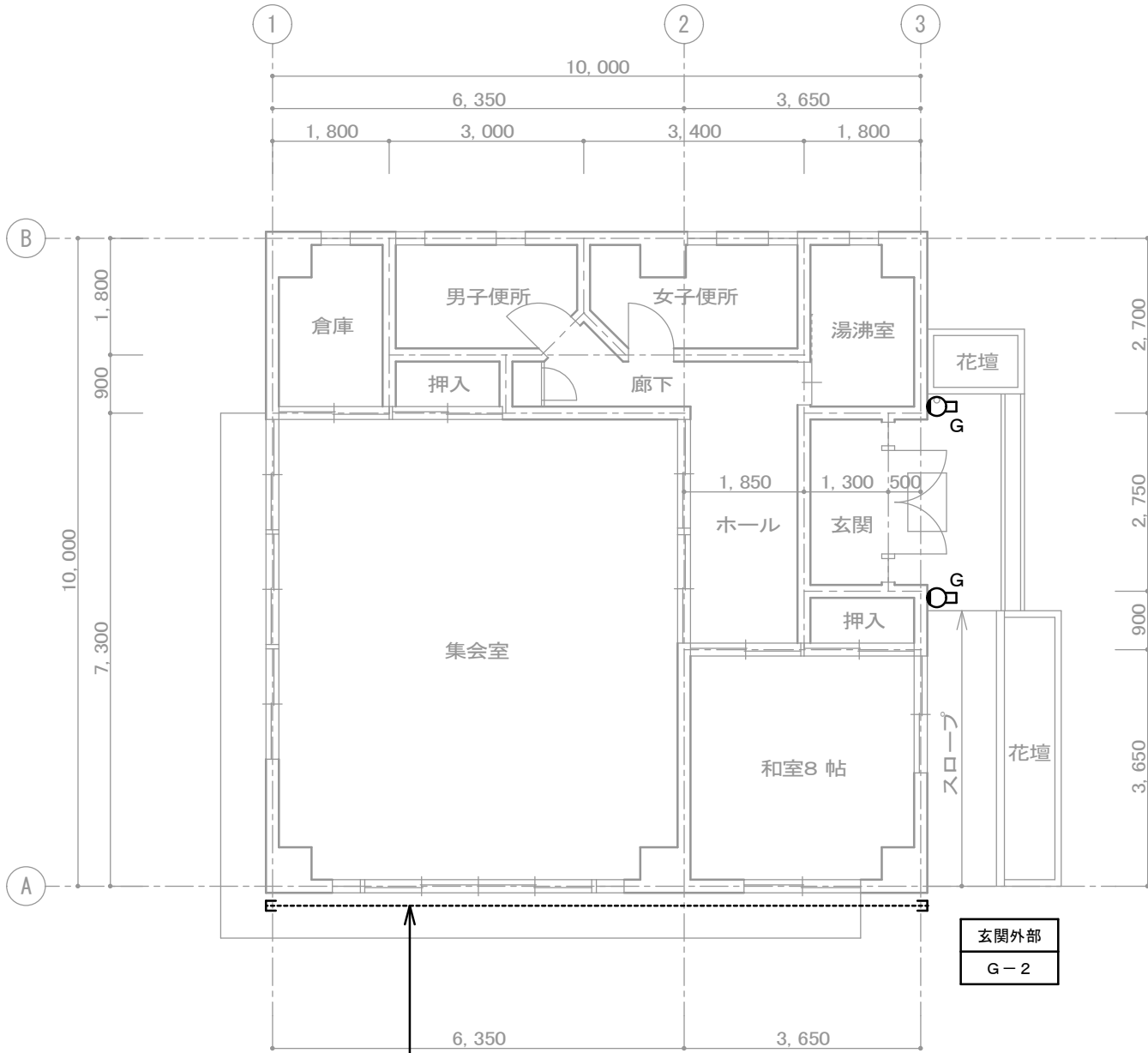
F	F	—
光源 器具電圧 器具型式 備考	LED20型 100～200V 直付型 W=120 800lmタイプ 光色昼白色 防湿・防雨型	— — — —
133.5lm/w (5.9W) (FL20W×1相当)		
		
【グリーン購入法適合品】 【参考】LEKTW212084N-LS9同等品		
G	G	—
光源 器具電圧 器具型式 備考	LED(10.3W) 100V ブラケット 850lmタイプ 防湿・防雨型 ランプ：LDF10NH53/C20/1200	— — — —
82.5lm/w (10.3W) (FL20W×1相当)		
		
【参考】LEDG85904+LDF10NH53/C20/1200同等品		

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 2号棟平面図（2）改修 A2 1:200		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-05
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		

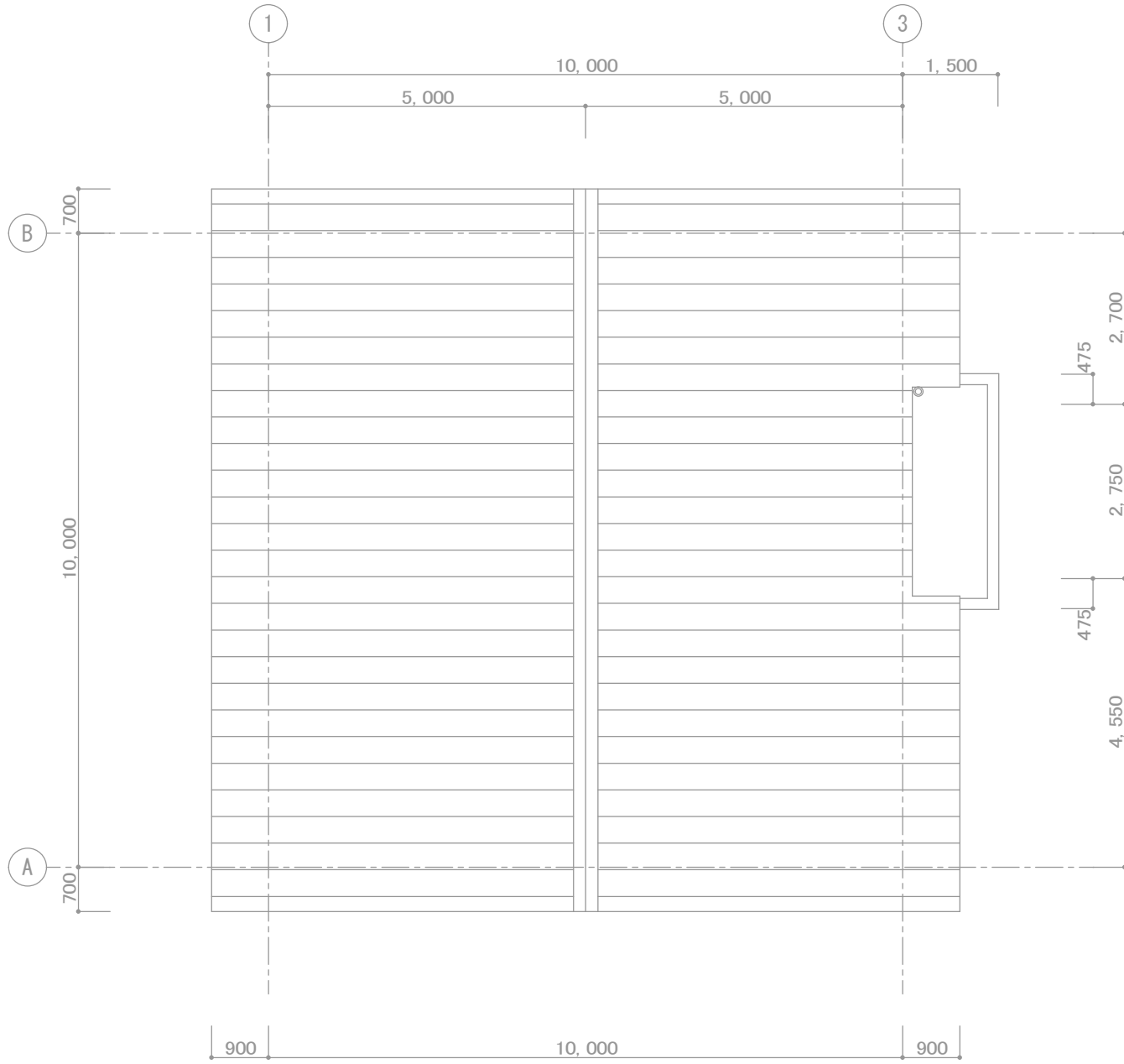
改修図

G	G	—
光源	LED (10.3W)	—
器具電圧	100V	—
器具型式	ブラケット	—
備考	850lmタイプ 防湿・防雨型 形状：LDF10NH53/C20/1200	—
82.5lm/w (10.3W)		(FL20W×1相当)
		
【参考】LEDG85904+LDF10NH53/C20/1200同等品		

凡 例
※図中の実線器具は全て新設とする。
※図中の点線器具は全て既設とする。
※機器交換・撤去に伴う既設配線切回しも行うこと。
※図中以外の器具で修繕工事に伴い撤去・移設・改修が、 必要な時は改修工事を行うこと。



平面図



屋根伏図

工 事 名 称	東町市営住宅外壁外改修工事（二期工事）		
図面名称／縮尺	電灯設備 集会室平面図 改修 A2 1:100		図 面 番 号
設 計 年 月 日	令和5年10月25日		E-06
設 計 者	一級建築士事務所 佐藤光作設計室		
発 注 者	鹿 沼 市		